

令和 4 年度

旭区民アンケート報告書

「旭区将来ビジョン 2022

～安心して住み続けられるあたたかいまち 旭区～」



旭区マスコットキャラクター

「しょうぶちゃん」

大阪市旭区役所

も く じ

【Ⅰ】 調査の概要	7
-----------	---

【Ⅱ】 調査結果

【1】 子育て・教育環境の一層の充実に向けた取組について

- 問1. 旭区役所では、子育てを見守るツールとして、未就学児を対象に「あさひキッズカード（※）」を配付しています。あさひキッズカードをご存じですか？・・・8
- 問2. 旭区役所では、平成31（令和元）年度から新たに、妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談支援ができるように、保健師が地区別に担当（地区担当制）をしています。ご存じですか？・・・9
- 問3. 旭区役所では、“安心して子育てできるまち”をめざして、子育てを支援する事業（あさひプレパパママレッスン、ノーバディーズ・パーフェクト・プログラム、お母さんのほっと！タイム、子育てわいわい広場など）を実施しています。ご存じですか？・・・10
- 問4. 旭区役所では、独自の取組として「あさひプレパパママレッスン」（妊婦及びそのパートナーを対象とした教室）や「おかあさんのほっと！タイム」（子育て中のお母さんを対象とした講座の一つ）などのイベントに加え、気軽にいつでも相談してもらえるよう「あさひ子育て相談メール、あさひ子育て応援ライン」を実施しています。これらの取組が、子育て中の家族の方がさまざまなことについて、相談やサポートを受けられることになっていると思いますか？・・・11
- 問5. 地域において、子どもが気軽に立ち寄れる居場所づくりとして、「こども食堂」の取組が進んでいます。こども食堂は、ボランティアで運営されており、食材の調達も寄付等で賄われています。
「こども食堂」の活動に対する協力について、あてはまるものをすべて選んでください。・・・12

【2】 暮らしを守る福祉などの向上に向けた取組について

- 問6. 旭区役所では、「あさひ健康フェスタ&食育フェスタ（健康に関する催し）」や「いきいき百歳体操（おもいを使った簡単な体操）」の普及など、健康意識の高揚に向けたイベントの開催などに取り組んでいます。
これらの取組が、区民の健康意識の向上につながると感じますか？・・・13

- 問 7. 区民一人ひとりが健康の重要性を意識し、生活習慣病や認知症の予防及び
早期発見・早期治療を実践することが重要です。
以前に比べ、あなた自身の健康意識が高まっていると思いますか？・・・・・・ 14
- 問 8. 障がいのある方やその家族の方の相談に応じて、福祉サービスの利用援助など
地域における生活を支援する機関「旭区障がい者基幹相談支援センター
(所在地：大宮 1-13-6)」をご存じですか？
(各区に 1 つ設置されています)・・・・・・ 15
- 問 9. 障がいのある方の、自立の社会参加、相談支援体制の充実、権利擁護などに
取り組む「旭区地域自立支援協議会」をご存じですか？・・・・・・ 16
- 問 10. 障がいのある方を対象としたサービス・事業に関する情報はどのように
入手されていますか？あてはまるものをすべて選んでください。・・・・・・ 17
- 問 11. 旭区では、障がいのある方やその家族の方がさまざまなことについて、
相談やサポートを受けられるようになっていると思いますか？・・・・・・ 18
- 問 12. 障がい者施策に関して、今後充実すべきと思うことは何ですか？
3 つまで選んでください。・・・・・・ 19
- 問 13. 旭区において区域を 3 つのエリアに分け、それぞれ高齢者の支援機関として
活動している「地域包括支援センター※」をご存じですか？・・・・・・ 20
- 問 14. 地域包括支援センターの役割の一部を担う出張所の総合相談窓口（ランチ※）
をご存じですか？・・・・・・ 21
- 問 15. 認知症の方やそのご家族を支援するための、医師・医療職・福祉の専門員で構
成する「認知症初期集中支援チーム（あさひさんさんオレンジチーム（所在地：
新森 5-3-17））」をご存じですか？・・・・・・ 22
- 問 16. 旭区広報紙「広報あさひ」 9 月号に地域包括支援センターの紹介など、高齢者
に関する特集を掲載しましたが、ご覧になられましたか？（9 月は「高齢者
福祉月間」です）・・・・・・ 23
- 問 17. 高齢者の方を対象としたサービス・事業に関する情報はどのように入手されてい
ますか？あてはまるものをすべて選んでください。・・・・・・ 24
- 問 18. 旭区では、高齢の方やその家族の方がさまざまなことについて、相談やサポ
ートを受けられるようになっていると思いますか？・・・・・・ 25

- 問 19. 高齢者施策に関して、今後充実すべきと思うことは何ですか？
3 つまで選んでください。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

【3】 地域コミュニティの活性化とまちの魅力の創出に向けた取組について

- 問 20. 旭区内には各小学校区を単位として、10 の「地域活動協議会」が設立されています。各地域活動協議会は、構成団体であるいろいろな地域団体等の協働により、地域課題の解決やコミュニティの活性化に向けて、さまざまな活動に取り組んでいます。地域活動協議会により地域が自律的に運営されていると感じますか？・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

- 問 21. 旭区役所では、地域の各種団体と協働で、コミュニティ活性化のための催しを開催しています。次の中から、知っている催しをすべて選んでください。・ 28

- 問 22. 旭区役所では、「あさひファン★フェスタ(6月)」「区民まつり(8月)」、「あさひわくわくキーワードラリー！(11月)」、「スポーツフェスティバル(11月)」、「総合文化祭(3月開催予定)」を開催するなど、地域の活性化に取り組んでいます。旭区において、地域のにぎわいや活性化が進んでいると思いますか？・ 29

- 問 23. 旭区役所では、区を誇りに思い、郷土愛や愛着を深めてもらうとともに、多くの人々が訪れる活気あるまちの実現に向けて各種イベントの開催などに取り組んでいます。あなたは、旭区に愛着を感じますか？・・・・・・・・・・ 30

- 問 24. 区内の商店街ではイベントを行うなど地域とのつながりを大切にしています。あなたは、旭区内の商店街に魅力を感じますか？・・・・・・・・・・ 31

- 問 25. 旭区役所では、旭区の魅力向上のために、「旭区ブランド（いち押しを含む）」・「旭わがまちお宝」を認定していますが、その取組をご存知ですか？・・・・ 32

- 問 26. 《問 25 で選択肢「1」を選ばれた方にお聞きします》「旭区ブランド（いち押しを含む）」・「旭わがまちお宝」をどこで知りましたか？・・・・・・・・・・ 33

- 問 27. 旭区では、区の魅力を高める取組を行っています。あなたが、旭区の魅力として紹介したいものはありますか？（複数回答可）・・・・・・・・・・ 34

【4】 地域防災力・地域防犯力の強化に向けた取組について

- 問 28. 災害に備えて、避難所や避難経路の確認、物資の備蓄、非常用持ち出し袋、家具の転倒防止策など自助の取組が大切です。あなたの家庭では、何らかの防災対策をとっていますか？次の中から、行っている対策をすべて選んでください。・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35

【5】城北公園について

- 問 29. 「城北公園」の利用頻度はどれくらいですか？・・・・・・・・・・ 36
- 問 30. どのような目的で「城北公園」を利用していますか？（複数回答可）・・・ 37
- 問 31. 普段「城北公園」での滞在時間はどれくらいですか？・・・・・・・・・・ 38
- 問 32. 「城北公園」の魅力は何ですか？（複数回答可）・・・・・・・・・・ 39
- 問 33. 「城北公園」がどのような公園であることを望みますか？（複数回答可）・ 40
- 問 34. 「城北公園」にあればいいと思うものは何ですか？（複数回答可）・・・・ 41. 42
- 問 35. 例えば、安心して住み続けられるあたたかいまちや、こどもの声あふれる
活気あるまちなどの実現に向けて、「城北公園」がどのような公園であれば
いいと思いますか？ ご意見等をご記入ください。・・・・・・・・・・ 42

【6】SDGsについて

- 問 36. SDGsをご存じですか？・・・・・・・・・・ 43
- 問 37. 《問 36 で選択肢「1」または「2」を選ばれた方にお聞きします》
普段の生活でSDGsをどの程度意識して行動していますか？
（複数回答可）・・・・・・・・・・ 44

【7】ICTの活用について

- 問 38. スマートフォンをお持ちですか？・・・・・・・・・・ 45
- 問 39. 《問 37 で選択肢「1」を選ばれた方にお聞きします》
スマートフォンで行っていることは何ですか？
（複数回答可）・・・・・・・・・・ 46

【8】広報について

- 問 40. 旭区の区政情報やイベント情報を何から入手していますか？あてはまるものを
すべて選んでください。・・・・・・・・・・ 47

【9】あなたご自身についてお聞きします

- 問 41. あなたの性別をお答えください・・・・・・・・・・ 48
- 問 42. あなたの年齢をお答えください・・・・・・・・・・ 49

問 43. 旭区にお住まいになられてどれくらいになりますか？ 50

問 44. 現在お住まいの地域をお答えください 51

問 45. 現在、中学生以下のお子さまの子育てをしていますか？なお、「子育てをしている」の場合は（ ）内の区分のうち、お子さまに該当するものすべてに☑を付けてください。 52

【Ⅰ】 調査の概要

（１） 調査の目的

本区では、2022 年に向けて、旭区のめざすべき将来の姿を取りまとめた「旭区将来ビジョン 2022～安心して住み続けられるまち 旭区～」を平成 30 年 3 月に策定しました。

同ビジョンでは、優先的に取り組む項目として、「安心して子育てできるまち」、「やさしさあふれるまち」、「活力あるまち」、「安全に暮らせるまち」の 4 つの柱を掲げています。

今回のアンケートでは、今後の取組みの参考とするために、区民のみなさまにお伺いし、区政運営の参考資料を得ることを目的としています。

（２） 調査の実施状況

- ①調査期間 令和 5 年 1 月 13 日（金）～ 1 月 30 日（月）
- ②調査方法 調査票の送付による配布と返信封筒による回収
- ③調査対象 住民基本台帳から無作為に抽出した 18 歳以上の旭区民
（令和 4 年 11 月末現在） 1, 600 名

（３） 調査の回収状況

ア 配布数	1,600 件
イ 未配達分（宛先不明）	27 件
ウ 有効発送数（ア－イ）	1,573 件
エ 郵送回収数	672 件
オ 有効回収数	672 件
エ 有効回収率（オ÷ウ）	42.72%

（４） 報告書の見方

- 特にことわりのない場合は、全て複数の選択肢から 1 つだけを選択して回答する間となっております。
- 結果数値は、小数点第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100%にならないことがあります。
- 複数回答の場合、回答者数に対する割合を表しているため、構成比の合計が 100%にならないことがあります。
- 性別の「その他」には、回答したくない方を含んでおります。

【Ⅱ】 調査結果

【1】 子育て・教育環境の一層の充実に向けた取組について

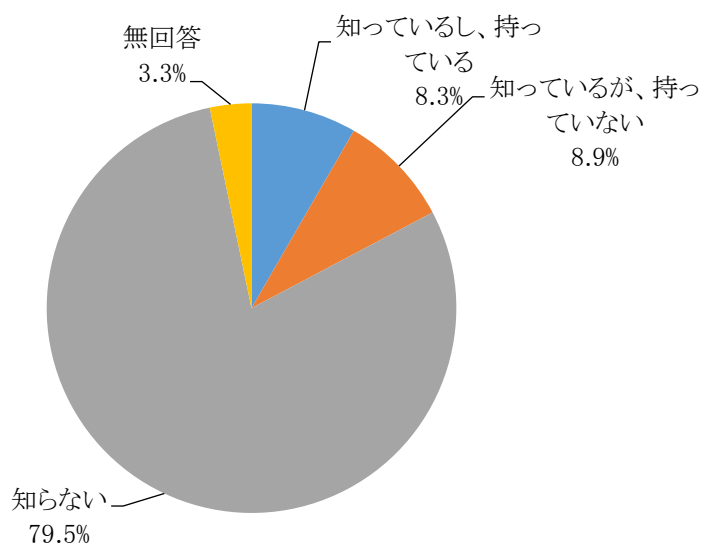
問1. 旭区役所では、子育てを見守るツールとして、未就学児を対象に「あさひキッズカード（※）」を配付しています。

あさひキッズカードをご存じですか？

n=672

※平成26年4月から発行しています。乳幼児健診の受診状況などを記録できる他、スタンプラリー(スタンプが貯まれば、プレゼントあり)や登録店舗(令和3年12月13日時点で52店舗)で割引などが受けられる特典もあります。

	項目	全体	割合
1	知っているし、持っている	56	8.3%
2	知っているが、持っていない	60	8.9%
3	知らない	534	79.5%
99	無回答	22	3.3%
合計		672	100.0%

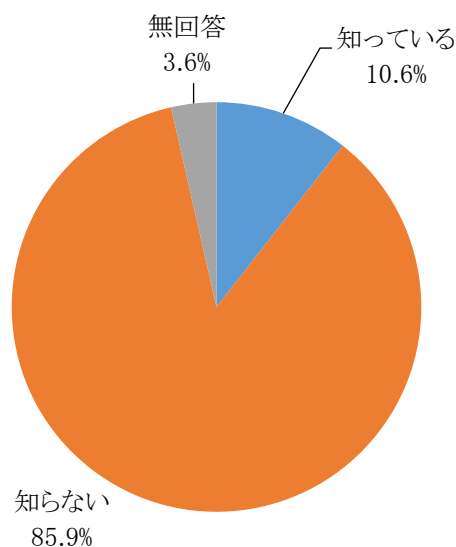


全体的傾向	「知らない」(79.5%)が最も多く、次いで「知っているが、持っていない」(8.9%)、「知っているし、持っている」(8.3%)となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「知らない」が最も多くなっています。次いで「18歳～49歳」の方は「知っているし、持っている」、「50歳以上」の方は「知っているが、持っていない」が多くなっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「知らない」が最も多くなっています。次いで「20年未満」の方は「知っているし、持っている」、「20年以上」の方は「知っているが、持っていない」が多くなっています。
子育て世帯別傾向	小学校就学前の子育てをしている世帯と小学生の子育てをしている世帯で「知っているし、持っている」が最も多くなっています。その他の世帯では「知らない」が最も多くなっています。

問 2. 旭区役所では、平成 31（令和元）年度から新たに、妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談支援ができるように、保健師が地区別に担当（地区担当制）をしています。ご存じですか？

n=672

	項目	全体	割合
1	知っている	71	10.6%
2	知らない	577	85.9%
99	無回答	24	3.6%
合計		672	100.0%

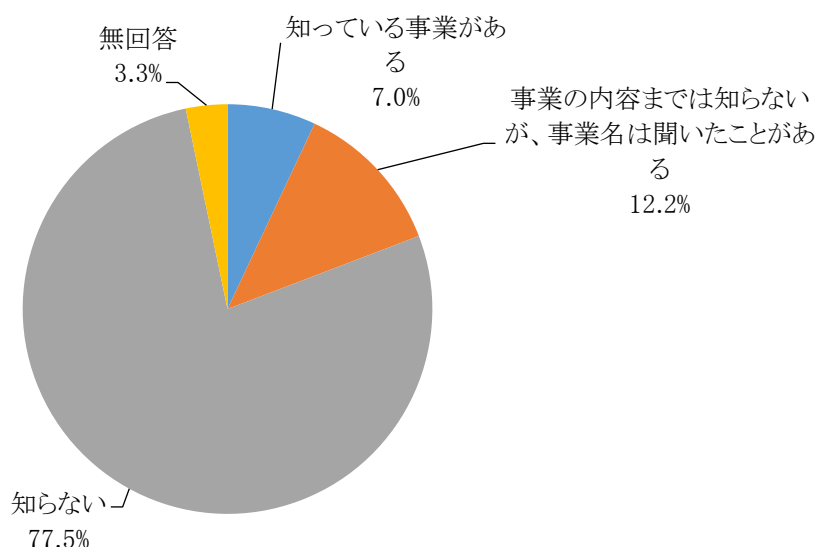


全体的傾向	全体では「知らない」（85.9%）が最も多く、次いで「知っている」（10.6%）、となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「知らない」が最も多くなっています。「知っている」が最も多いのが「30 歳～39 歳」代となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「知らない」が最も多くなっています。「5 年以上 10 年未満」の方は「知っている」が 20%以上となっています。
子育て世帯別傾向	小学校就学前の子育てをしている世帯以外では「知らない」が最も多くなっています。小学生の子育てをしている方は「知っている」が 31.4% となっています。

問3. 旭区役所では、“安心して子育てできるまち”をめざして、子育てを支援する事業（あさひプレパママレッスン、ノーバディーズ・パーフェクト・プログラム、お母さんのほっと！タイム、子育てわいわい広場など）を実施しています。ご存じですか？

n=672

	項目	全体	割合
1	知っている事業がある	47	7.0%
2	事業の内容までは知らないが、事業名は聞いたことがある	82	12.2%
3	知らない	521	77.5%
99	無回答	22	3.3%
合計		672	100.0%

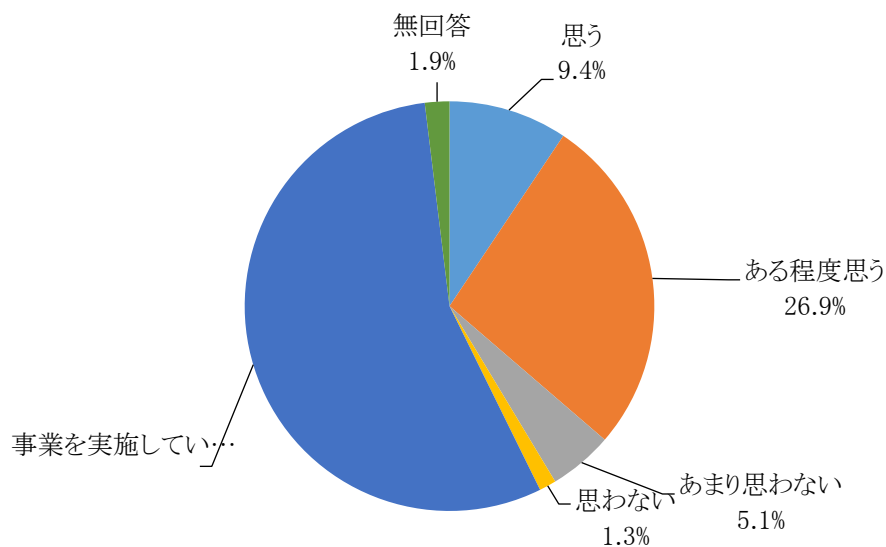


全体的傾向	「知らない」(77.5%)が最も多く、次いで「事業の内容までは、知らないが、事業名は聞いたことがある」(12.2%)、「知っている事業がある」(7.0%)となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「知らない」が最も多くなっています。次いで「事業の内容までは、知らないが、事業名は聞いたことがある」が多くなっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「知らない」が最も多くなっています。次いで5年未満の世帯と10年以上20年未満は「知っている事業がある」、その他の居住年数では「事業の内容までは、知らないが、事業名は聞いたことがある」が多くなっています。
子育て世帯別傾向	小学校就学前の子育てをしている世帯以外「知らない」が最も多くなっています。小学校就学前の子育てをしている世帯と小学生の子育てをしている世帯は「知っている事業がある」、小学生の子育てをしている世帯と中学生の子育てをしている世帯では「事業の内容までは、知らないが、事業名は聞いたことがある」が多くなっています。

問4. 旭区役所では、独自の取組として「あさひプレパマママレッスン」(妊婦及びそのパートナーを対象とした教室)や「おかあさんのほっと！タイム」(子育て中のお母さんを対象とした講座の一つ)などのイベントに加え、気軽にいつでも相談してもらえるよう「あさひ子育て相談メール、あさひ子育て応援ライン」を実施しています。

これらの取組が、子育て中の家族の方がさまざまなことについて、相談やサポートを受けられることになっていると思いますか？ n=672

	項目	全体	割合
1	思う	63	9.4%
2	ある程度思う	181	26.9%
3	あまり思わない	34	5.1%
4	思わない	9	1.3%
5	事業を実施していることを知らない	372	55.4%
99	無回答	13	1.9%
合計		672	100.0%

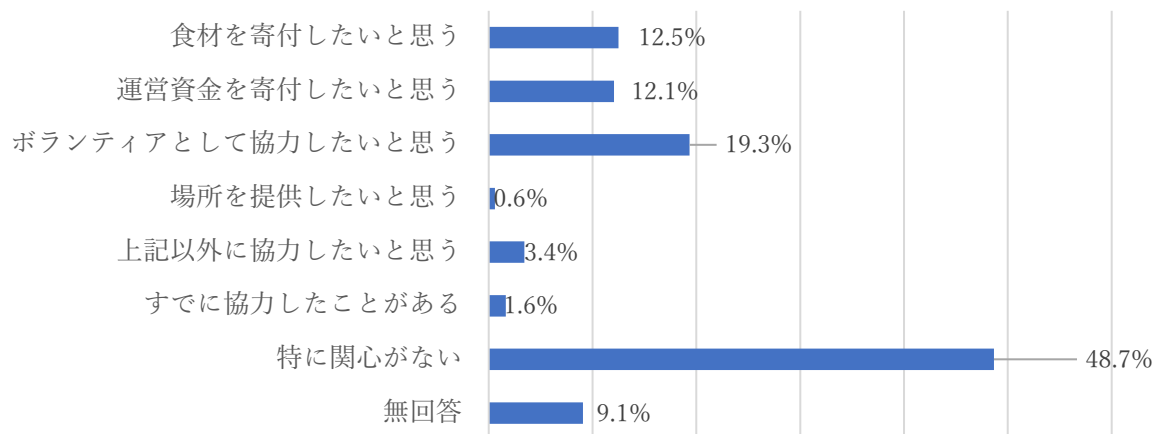


全体的傾向	「事業を実施していることを知らない」(55.4%)が最も多く、次いで「ある程度思う」(26.9%)、「思う」(9.4%)、「あまり思わない」(5.1%)、「思わない」(1.3%)となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「事業を実施していることを知らない」が最も多くなっています。次いで「ある程度思う」が多くなっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「事業を実施していることを知らない」が最も多くなっています。次いで5年以上10年未満と10年以上20年未満で「ある程度思う」が30%以上となっています。
子育て世帯別傾向	小学校就学前の子育てをしている世帯で「ある程度思う」が50%以上となっています。子育てをしていない世帯は「事業を実施していることを知らない」が60%以上と最も多くなっています。

問5. 地域において、子どもが気軽に立ち寄れる居場所づくりとして、
「こども食堂」の取組が進んでいます。こども食堂は、ボランティアで
運営されており、食材の調達も寄付等で賄われています。
「こども食堂」の活動に対する協力について、
あてはまるものをすべて選んでください。 n=672

※旭区内では、NPO 法人や個人の皆さんにより、14 か所でこども食堂が開催されています(令和4年10月末日時点)。なお、こども食堂に協力されたい場合は、各こども食堂、旭区役所、旭区社会福祉協議会にお問い合わせください。

	項目	全体	割合
1	食材を寄付したいと思う	84	12.5%
2	運営資金を寄付したいと思う	81	12.1%
3	ボランティアとして協力したいと思う	130	19.3%
4	場所を提供したいと思う	4	0.6%
5	上記以外に協力したいと思う	23	3.4%
6	すでに協力したことがある	11	1.6%
7	特に関心がない	327	48.7%
99	無回答	61	9.1%
	合計	721	107.3%



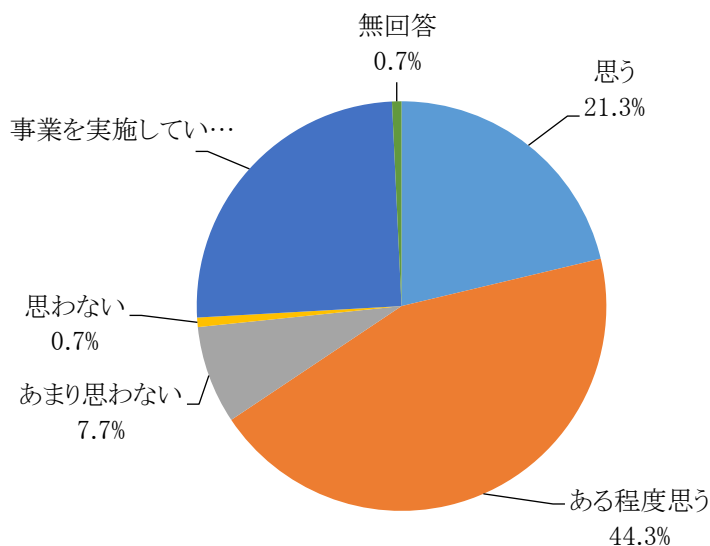
全体的傾向	「特に関心がない」が最も多く、47.2%でした。反対に「場所を提供したいと思う」は0.6%と最も少なくなっています。
年齢別傾向	全ての年代で「特に関心がない」が多くなっています。「特に関心がない」割合は80歳以上が最も高く55.8%、次いで70歳～79歳の52.5%でした。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「特に関心がない」が多く、「特に関心がない」割合は20年以上30年未満が最も高く50.0%でした。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「特に関心がない」が多くなっています。「特に関心がない」割合が最も多いのは子育てをしていない世帯で47.8%でした。

【2】暮らしを守る福祉などの向上に向けた取組について

問6. 旭区役所では、「あさひ健康フェスタ&食育フェスタ（健康に関する催し）」や「いきいき百歳体操（おもりを使った簡単な体操）」の普及など、健康意識の高揚に向けたイベントの開催などに取り組んでいます。

これらの取組が、区民の健康意識の向上につながると感じますか？ n=672

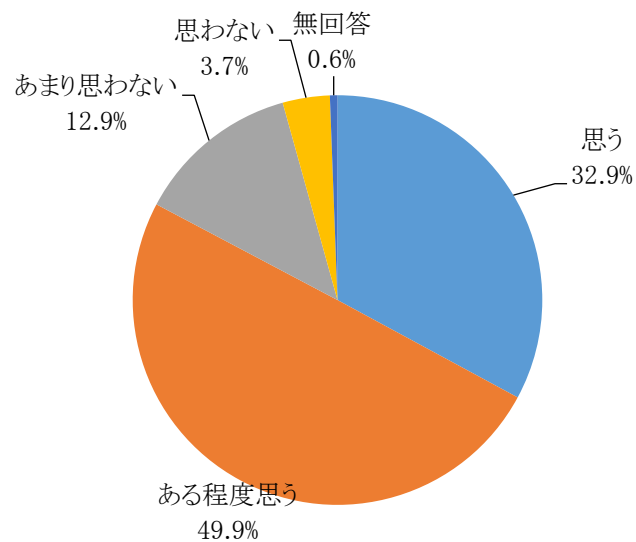
	項目	全体	割合
1	思う	143	21.3%
2	ある程度思う	298	44.3%
3	あまり思わない	52	7.7%
4	思わない	5	0.7%
5	事業を実施していることを知らない	169	25.1%
99	無回答	5	0.7%
	合計	672	100.0%



全体的傾向	「ある程度思う」が最も多く、44.3%となっています。次いで「事業を実施していることを知らない」が25.1%となっています。
年齢別傾向	全年代で「ある程度思う」が最も多くなっています。「ある程度思う」割合は30～39歳が最も高く48.6%、次いで50歳～59歳の47.6%でした。
居住年数別傾向	5年以上10年未満、10年以上20年未満、30年以上の居住年数で「ある程度思う」が最も多くなっています（それぞれ49.0%、58.5%、44.9%）。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「ある程度思う」が最も高く、子育てをしていない世帯では「事業を実施していることを知らない」が26.6%となっています。

問 7. 区民一人ひとりが健康の重要性を意識し、生活習慣病や認知症の予防及び
早期発見・早期治療を実践することが重要です。
以前に比べ、あなた自身の健康意識が高まっていますか？ n=672

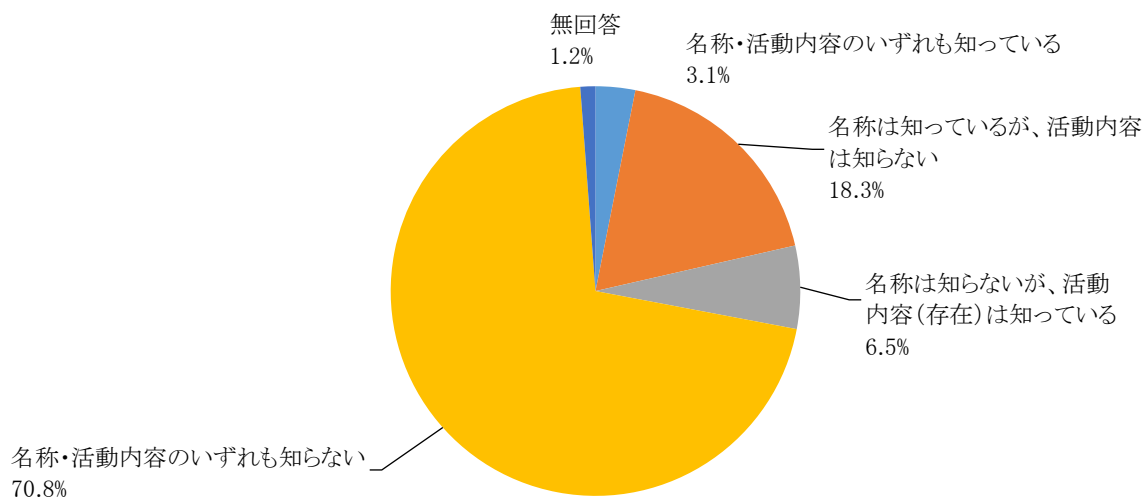
	項目	全体	割合
1	思う	221	32.9%
2	ある程度思う	335	49.9%
3	あまり思わない	87	12.9%
4	思わない	25	3.7%
99	無回答	4	0.6%
合計		672	100.0%



全体的傾向	「ある程度思う」が最も多く、49.9%でした。次いで「思う」32.9%、「あまり思わない」12.9%、「思わない」3.7%となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「ある程度思う」の割合が最も高く、50歳～59歳、60歳～69歳、70歳～79歳では「思う」が30%以上となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「ある程度思う」が最も高くなっています。10年以上20年未満、20年以上30年未満、30年以上の世帯では「思う」が30%以上となっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「ある程度思う」が最も多くなっています。子育てをしていない世帯では、「思う」の割合が全世帯で最も高く32.8%となっています。

問 8. 障がいのある方やその家族の方の相談に応じて、福祉サービスの利用援助など地域における生活を支援する機関「旭区障がい者基幹相談支援センター（所在地：大宮 1-13-6）」をご存じですか？（各区に 1 つ設置されています） n=672

	項目	全体	割合
1	名称・活動内容のいずれも知っている	21	3.1%
2	名称は知っているが、活動内容は知らない	123	18.3%
3	名称は知らないが、活動内容(存在)は知っている	44	6.5%
4	名称・活動内容のいずれも知らない	476	70.8%
99	無回答	8	1.2%
	合計	672	100.0%

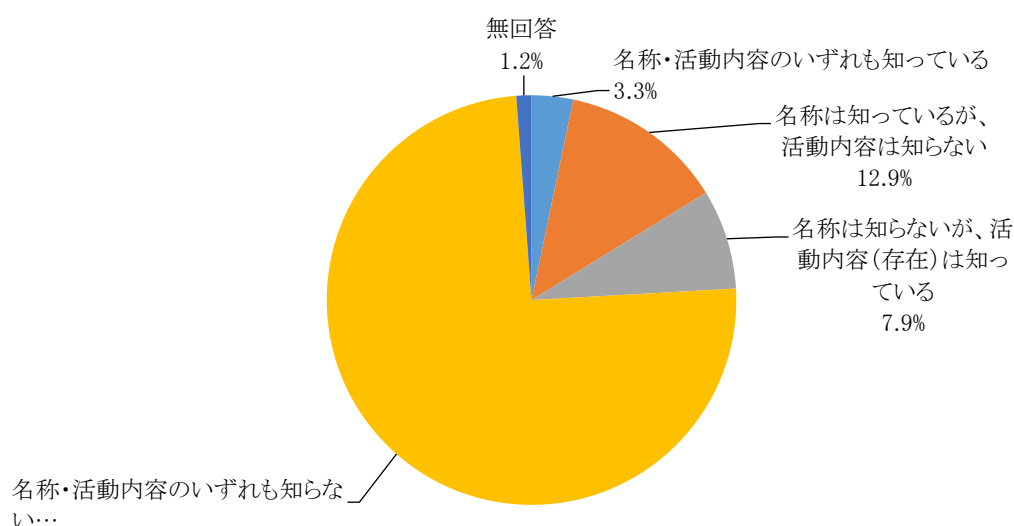


全体的傾向	「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も多く、70.8%となっています。次いで「名称は知っているが、活動内容は知らない」が18.3%となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も多くなっています。70歳～79歳の年代は「名称は知っているが、活動内容は知らない」の割合が全ての年代の中で最も高くなっています。
居住年数別傾向	全ての世帯で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も多くなっています。20年以上30年未満の世帯では「名称は知っているが、活動内容は知らない」の割合が全ての年代の中で最も高くなっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も多くなっています。子育てをしていない世帯では「名称は知っているが、活動内容は知らない」の割合が全ての年代の中で最も高く18.9%となっています。

問 9. 障がいのある方の、自立の社会参加、相談支援体制の充実、権利擁護などに取り組む「旭区地域自立支援協議会」をご存じですか？ n=672

※相談を受ける事業所のスキルアップのための研修会、相談会や子育て応援セミナー、区役所や千林商店街での授産製品の販売などに取り組んでいます。

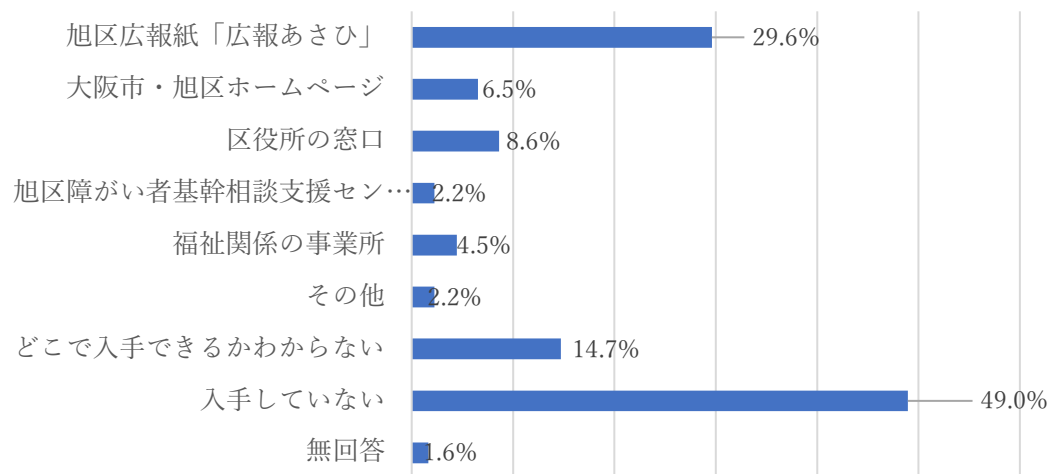
	項目	全体	割合
1	名称・活動内容のいずれも知っている	22	3.3%
2	名称は知っているが、活動内容は知らない	87	12.9%
3	名称は知らないが、活動内容(存在)は知っている	53	7.9%
4	名称・活動内容のいずれも知らない	502	74.7%
99	無回答	8	1.2%
	合計	672	100.0%



全体的傾向	全体では「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く、74.7%でした。次いで「名称は知っているが・活動内容は知らない」で12.9%となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高くなっています。70歳～79歳は、全ての年代の中で「名称は知っているが・活動内容は知らない」の割合が最も高く21.9%となっています。
居住年数別傾向	全ての世帯で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高くなっています。5年以上～10年未満の世帯は、全ての世帯の中で「名称は知っているが・活動内容は知らない」の割合が最も高く18.4%となっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高くなっています。最多は小学校就学前の子育て世帯で89.1%となっています。

問 10. 障がいのある方を対象としたサービス・事業に関する情報はどのように入手されていますか？あてはまるものをすべて選んでください。 n=672

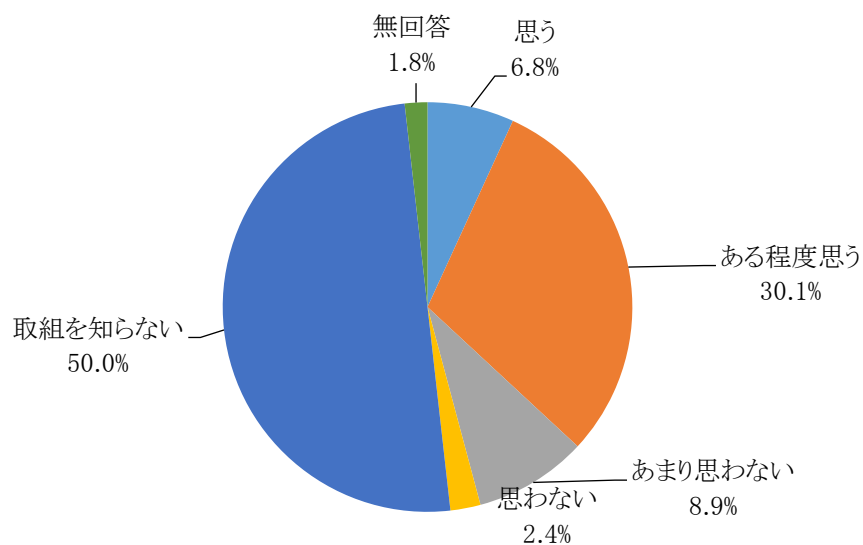
	項目	全体	割合
1	旭区広報紙「広報あさひ」	199	29.6%
2	大阪市・旭区ホームページ	44	6.5%
3	区役所の窓口	58	8.6%
4	旭区障がい者基幹相談支援センター	15	2.2%
5	福祉関係の事業所	30	4.5%
6	その他	15	2.2%
7	どこで入手できるかわからない	99	14.7%
8	入手していない	329	49.0%
99	無回答	11	1.6%
	合計	800	119.0%



全体的傾向	全体では、「入手していない」が最も高く 49.0%でした。次いで「旭区広報紙「広報あさひ」」が 29.6%となっています
年齢別傾向	70～79 歳を除く全年代で「入手していない」と回答された割合が高くなっています。一方 60 代以上は「旭区広報紙「広報あさひ」」と回答された割合が高く 70～79 歳は 38.5%と全ての年代で最も高くなっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「入手していない」が最も高くなっています。最も割合が高い世帯は、5 年未満で 57.5%となっています。「旭区広報紙「広報あさひ」」と回答された割合が高い世帯は 30 年以上で 30.0%となっています。
子育て世帯別傾向	全ての子育て世帯で「入手していない」が高く、最も割合が高い世帯は、小学校就学前の子育て世帯で 43.6%となっています。「旭区広報紙「広報あさひ」」と回答された割合が高い世帯は、中学生の子育てをしている世帯で 26.2%となっています。

問 11. 旭区では、障がいのある方やその家族の方がさまざまなことについて、相談やサポートを受けられるようになってきていると思いますか？ n=672

	項目	全体	割合
1	思う	46	6.8%
2	ある程度思う	202	30.1%
3	あまり思わない	60	8.9%
4	思わない	16	2.4%
5	取組を知らない	336	50.0%
99	無回答	12	1.8%
合計		672	100.0%



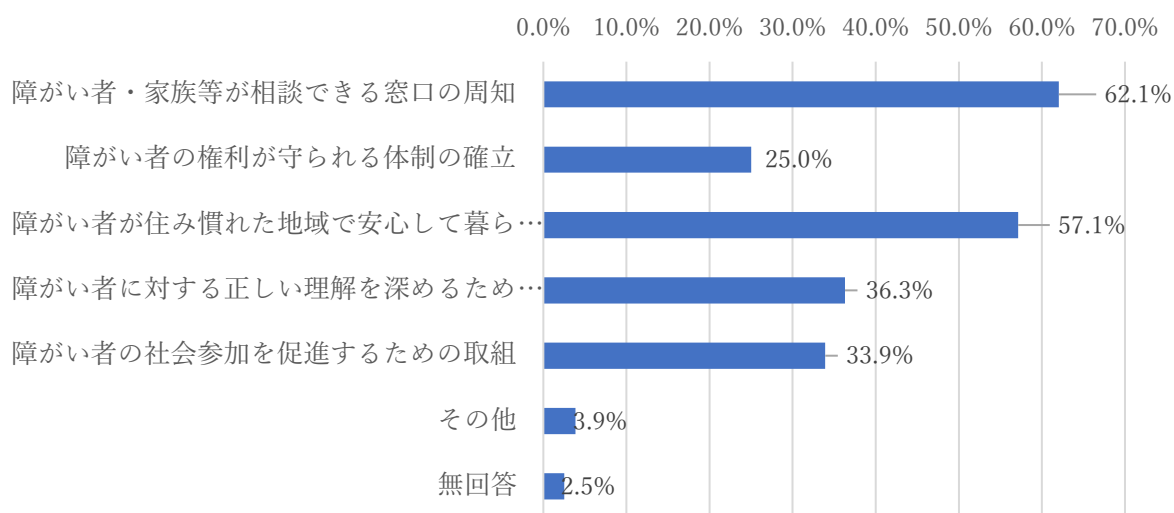
全体的傾向	「取組を知らない」と回答された方が最も多く、50.0%となっています。次いで「ある程度思う」30.1%、「あまり思わない」8.9%となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「取組を知らない」が最も多く、最多は30歳～39歳で71.4%となっています。
居住年数別傾向	全ての世帯では「取組を知らない」が最も多く、最多は5年未満で67.6%となっています。
子育て世帯別傾向	全ての子育て世帯で「取組を知らない」が最も多く、最多は小学校就業前の子育て世帯で60.9%となっています。次いで小学生の子育て世帯は54.9%となっています。

問 12. 障がい者施策に関して、今後充実すべきと思うことは何ですか？

3 つまで選んでください。

n=672

	項目	全体	割合
1	障がい者・家族等が相談できる窓口の周知	417	62.1%
2	障がい者の権利が守られる体制の確立	168	25.0%
3	障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための取組	384	57.1%
4	障がい者に対する正しい理解を深めるための取組	244	36.3%
5	障がい者の社会参加を促進するための取組	228	33.9%
6	その他	26	3.9%
99	無回答	17	2.5%
	合計	1,484	220.8%



全体的傾向	全体では「障がい者・家族等が相談できる窓口の周知」が最も多く、62.1%となっています。次いで「障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための取組み」57.1%となっています。
年齢別傾向	「障がい者・家族等が相談できる窓口の周知」と回答された割合が最も高いのは、18歳～29歳、30歳～39歳、40歳～49歳、50歳～59歳、80歳以上でした。一方、60歳～69歳、70歳～79歳では「障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための取組」が高くなっています。
居住年数別傾向	10年以上20年未満では「障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための取組」と回答された割合が最も高く28.1%でした。
子育て世帯別傾向	「障がい者・家族等が相談できる窓口の周知」と回答された割合が最も高い世帯は、中学生の子育てをしている世帯で32.1%でした。一方、小学生の子育てをしている世帯は「障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための取組」と回答された割合が最も高く28.7%でした。

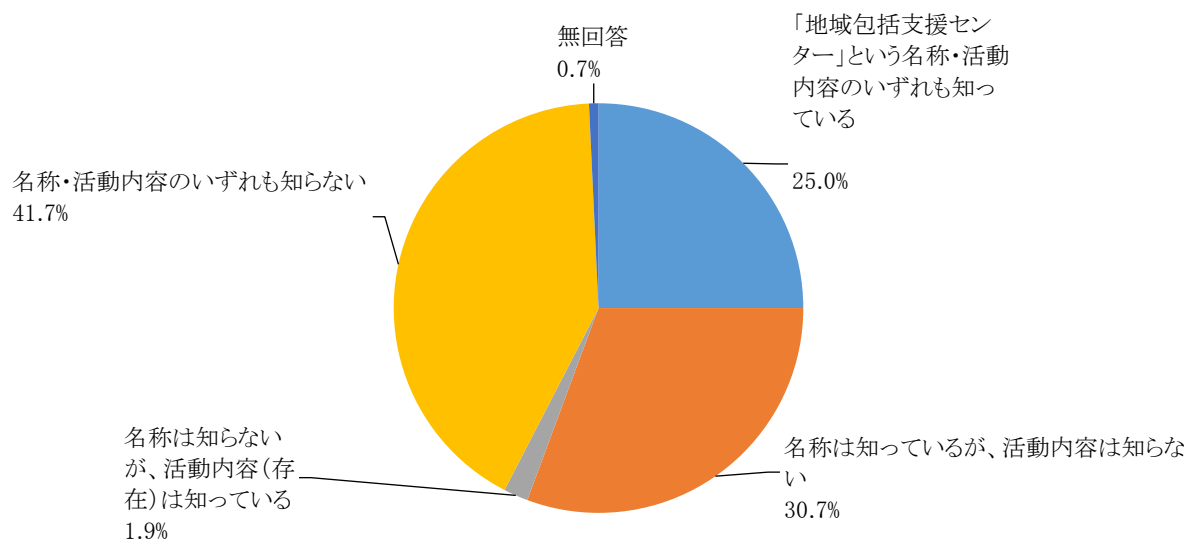
問 13. 旭区において区域を3つのエリアに分け、それぞれ高齢者の支援機関として活動している「地域包括支援センター※」をご存じですか？ n=672

※旭区地域包括支援センター(所在地：高殿 6-16-1)

旭区東部地域包括支援センター(所在地：新森 4-27-13)

旭区西部地域包括支援センター(所在地：中宮 2-15-7)

	項目	全体	割合
1	「地域包括支援センター」という名称・活動内容のいずれも知っている□	168	25.0%
2	名称は知っているが、活動内容は知らない	206	30.7%
3	名称は知らないが、活動内容(存在)は知っている	13	1.9%
4	名称・活動内容のいずれも知らない	280	41.7%
99	無回答	5	0.7%
合計		672	100.0%



全体的傾向	全体では「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く、41.7%となっています。次いで「名称は知っているが、活動内容は知らない」30.7%となっています。
年齢別傾向	30歳～39歳では「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く64.3%となっています。また最も低い年代は80歳以上で30.1%となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く、最多は5未満で57.7%となっています。次いで「名称は知っているが、活動内容は知らない」が全ての年代で多くなっています。
子育て世帯別傾向	全ての子育て世帯で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く、最多は小学校就業前の子育てをしている世帯で67.4%となっています。次いで「名称は知っているが、活動内容は知らない」の割合が多くなっています。

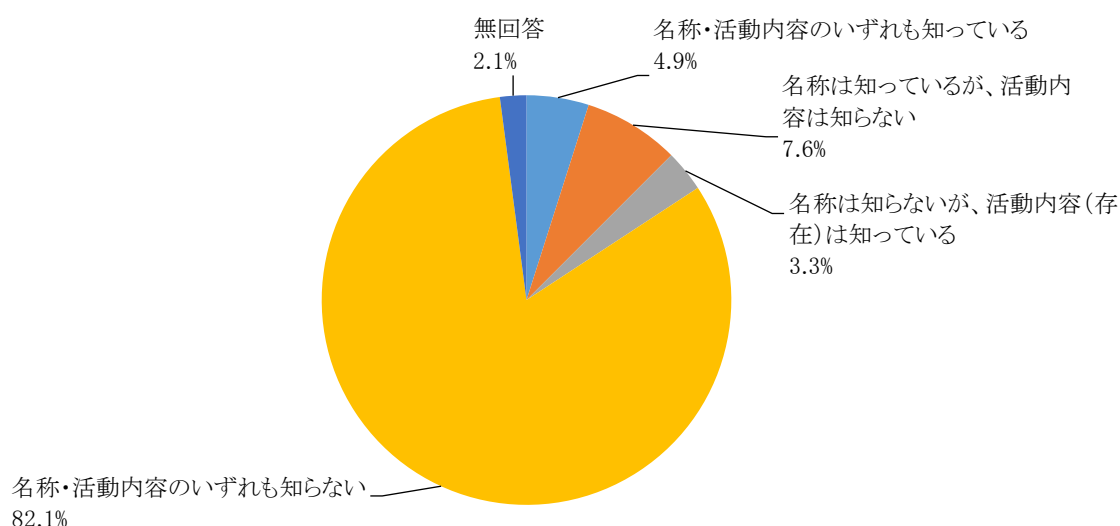
問 14. 地域包括支援センターの役割の一部を担う出張所の総合相談窓口（ブランチ※）
をご存じですか？

n=672

※旭陽ブランチ(所在地：高殿 5-10-7)

今市ブランチ(所在地：今市 1-2-2)

	項目	全体	割合
1	名称・活動内容のいずれも知っている	33	4.9%
2	名称は知っているが、活動内容は知らない	51	7.6%
3	名称は知らないが、活動内容(存在)は知っている	22	3.3%
4	名称・活動内容のいずれも知らない	552	82.1%
99	無回答	14	2.1%
	合計	672	100.0%

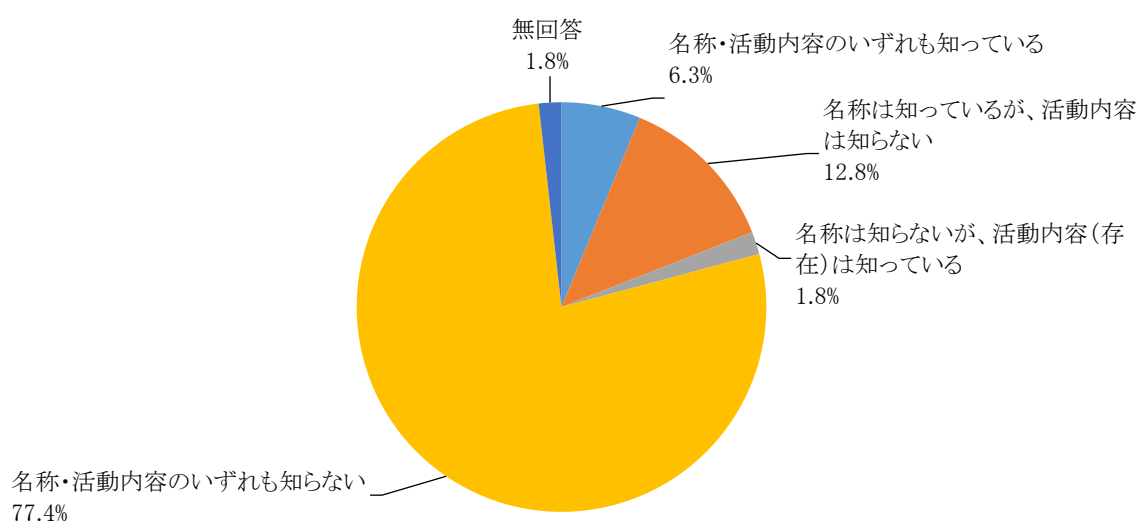


全体的傾向	全体では「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く、82.1%となっています。次いで「名称は知っているが、活動内容は知らない」7.6%となっています。
年齢別傾向	18歳～29歳では「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く95.0%となっています。また最も低い年代は80歳以上で69.9%となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く、5年以上10年未満の世帯で95.9%と全ての世帯で最高となっています。また最も低い年代は30年以上の世帯で77.3%となっています。
子育て世帯別傾向	全ての子育て世帯で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く、小学校就学前の子育てをしている世帯で95.7%と全ての世帯で最高となっています。次いで、「名称は知っているが、活動内容は知らない」が多く、中学生の子育てをしている世帯で8.6%と全ての世帯で最高となっています。

問 15. 認知症の方やそのご家族を支援するための、医師・医療職・福祉の専門員で構成する「認知症初期集中支援チーム（あさひさんさんオレンジチーム（所在地：新森 5-3-17））」をご存じですか？

n=672

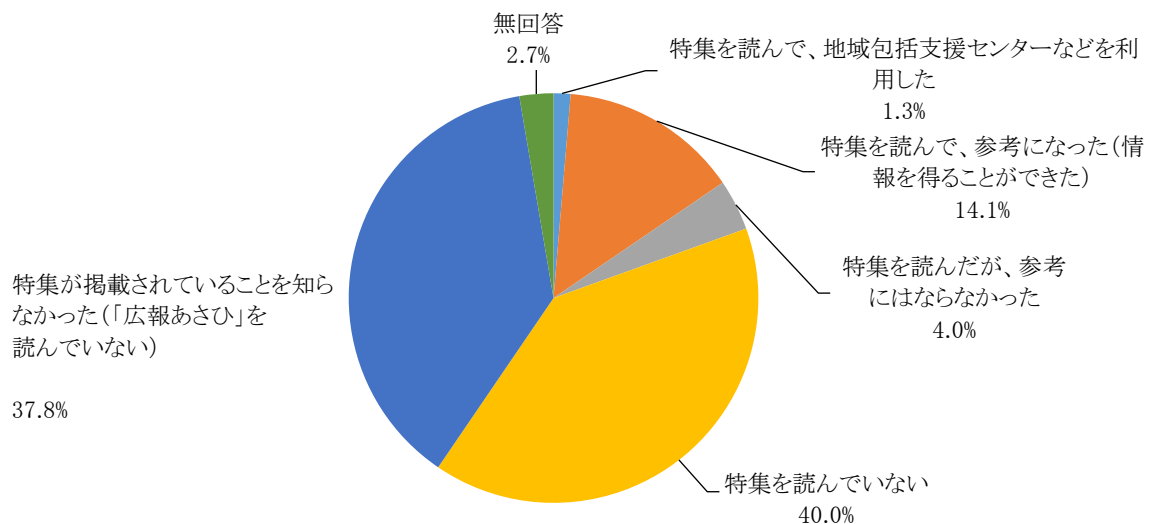
	項目	全体	割合
1	名称・活動内容のいずれも知っている	42	6.3%
2	名称は知っているが、活動内容は知らない	86	12.8%
3	名称は知らないが、活動内容(存在)は知っている	12	1.8%
4	名称・活動内容のいずれも知らない	520	77.4%
99	無回答	12	1.8%
合計		672	100.0%



全体的傾向	全体では「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く、77.4%となっています。次いで「名称は知っているが、活動内容は知らない」12.8%となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く、50歳～59歳の方で83.8%と全ての年代で最高となっています。また、最も低い年代は70歳～79歳の方で73.0%となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く、5年未満の世帯で90.1%と全ての世帯で最高となっています。次いで「名称は知っているが、活動内容は知らない」が全ての世帯で多くなっています。
子育て世帯別傾向	全ての子育て世帯で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も高く、中学生の子育てをしている世帯で82.9%と全ての世帯で最高となっています。次いで、「名称は知っているが、活動内容は知らない」が多く、小学校就学前の子育てをしている世帯で21.7%と全ての世帯で最高となっています。

問 16. 旭区広報紙「広報あさひ」 9 月号に地域包括支援センターの紹介など、高齢者に関する特集を掲載しましたが、ご覧になりましたか？
(9 月は「高齢者福祉月間」です) n=672

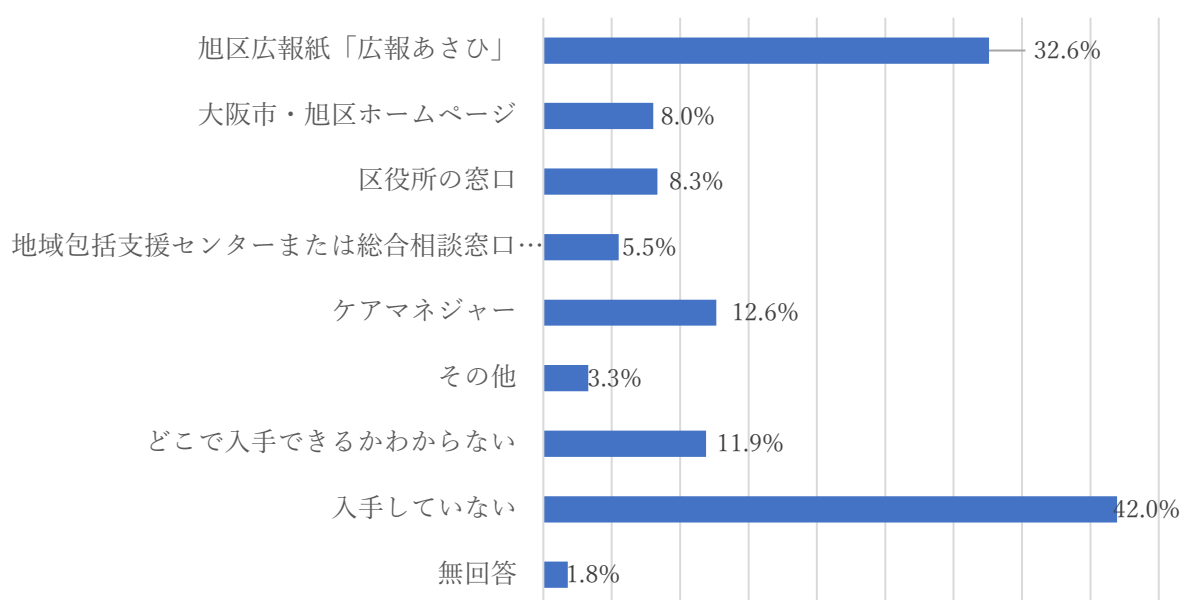
	項目	全体	割合
1	特集を読んで、地域包括支援センターなどを利用した	9	1.3%
2	特集を読んで、参考になった(情報を得ることができた)	95	14.1%
3	特集を読んだが、参考にはならなかった	27	4.0%
4	特集を読んでいない	269	40.0%
5	特集が掲載されていることを知らなかった(「広報あさひ」を読んでいない)□	254	37.8%
99	無回答	18	2.7%
	合計	672	100.0%



全体的傾向	全体では「特集を読んでいない」が最も高く、40.0%となっています。次いで、「特集が掲載されていることを知らなかった(「広報あさひ」を読んでいない)」37.8%となっています。
年齢別傾向	59 歳以下の方は「特集が掲載されていることを知らなかった(「広報あさひ」を読んでいない)」が最も高くなっています。60 歳以上の方は「特集を読んでいない」が最も高くなっています。
居住年数別傾向	5 年未満、5 年以上 10 年未満、10 年以上 20 年未満、20 年以上 30 年未満の世帯では「特集が掲載されていることを知らなかった(「広報あさひ」を読んでいない)」が最も高くなっています。30 年以上の世帯は「特集を読んでいない」が最も高くなっています。
子育て世帯別傾向	中学生の子育てをしている世帯では「特集が掲載されていることを知らなかった(「広報あさひ」を読んでいない)」が最も高くなっています。その他の世帯は「特集を読んでいない」が最も高くなっています。

問 17. 高齢者の方を対象としたサービス・事業に関する情報はどのように入手されていますか？あてはまるものをすべて選んでください。 n=672

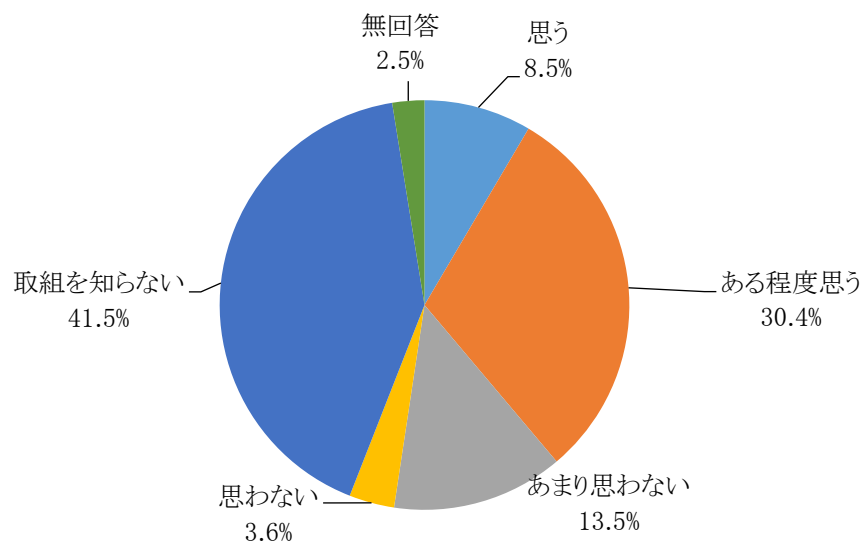
	項目	全体	割合
1	旭区広報紙「広報あさひ」	219	32.6%
2	大阪市・旭区ホームページ	54	8.0%
3	区役所の窓口	56	8.3%
4	地域包括支援センターまたは総合相談窓口(ブランチ)	37	5.5%
5	ケアマネジャー	85	12.6%
6	その他	22	3.3%
7	どこで入手できるかわからない	80	11.9%
8	入手していない	282	42.0%
99	無回答	12	1.8%
	合計	847	126.0%



全体的傾向	全体では「入手していない」が最も高く、42.0%となっています。次いで、「旭区広報紙「広報あさひ」」42.0%となっています。
年齢別傾向	69歳以下の方は「入手していない」が最も高くなっています。70歳以上の方は「旭区広報紙「広報あさひ」」が最も高くなっています。
居住年数別傾向	居住年数30年未満の全ての世帯では「入手していない」が最も高くなっています。居住年数30年以上の世帯は「旭区広報紙「広報あさひ」」が最も高くなっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「入手していない」が最も高くなっています。小学校就学前の子育てをしている世帯で56.0%と最も高くなっています。子育てをしていない世帯は31.7%と最も低くなっています。

問 18. 旭区では、高齢の方やその家族の方がさまざまなことについて、相談やサポートを受けられるようになってきていると思いますか？ n=672

	項目	全体	割合
1	思う	57	8.5%
2	ある程度思う	204	30.4%
3	あまり思わない	91	13.5%
4	思わない	24	3.6%
5	取組を知らない	279	41.5%
99	無回答	17	2.5%
合計		672	100.0%



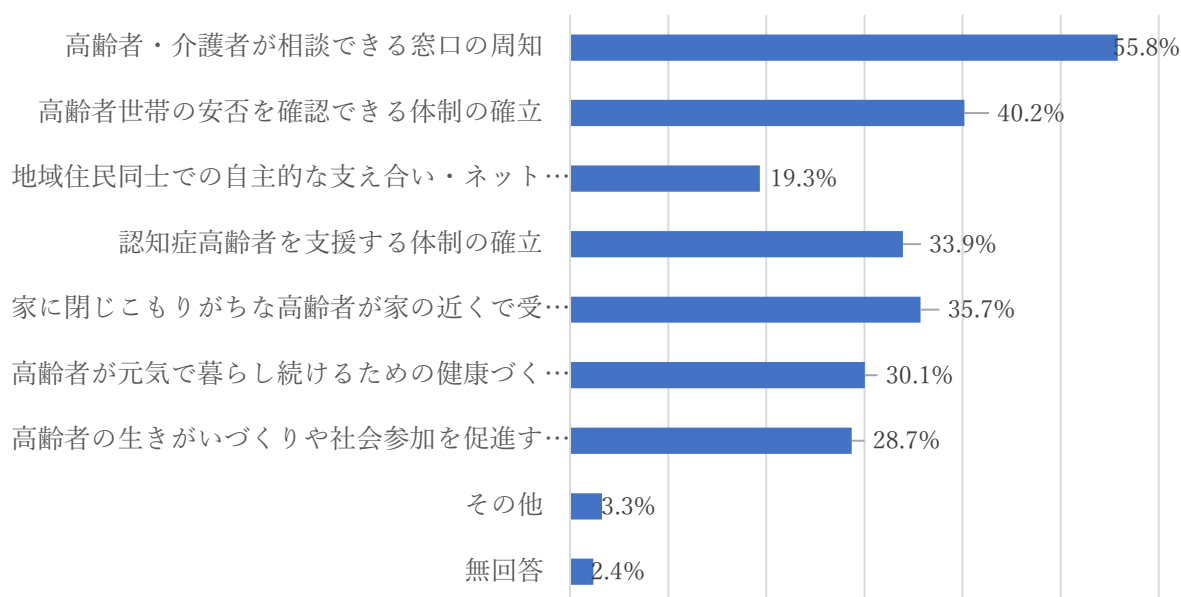
全体的傾向	全体では「取組を知らない」が最も高く、41.5%となっています。次いで「ある程度思う」30.4%、「あまり思わない」13.5%、「思う」8.5%、「思わない」3.6%となっています。
年齢別傾向	50歳～59歳、60歳～69歳の年代で「ある程度思う」が最も高くなっています。その他の年代では「取組を知らない」が最も高くなっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「取組を知らない」が最も高く、5年未満の世帯で60.6%と最高となっています。次いで「ある程度思う」が最も高くなっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「取組を知らない」が最も高く、小学校就学前の子育てをしている世帯で50.0%と最高となっています。中学生の子育てをしている世帯は43.5%と最も低くなっています。

問 19. 高齢者施策に関して、今後充実すべきと思うことは何ですか？

3 つまで選んでください。

n=672

	項目	全体	割合
1	高齢者・介護者が相談できる窓口の周知	375	55.8%
2	高齢者世帯の安否を確認できる体制の確立	270	40.2%
3	地域住民同士での自主的な支え合い・ネットワークの確立	130	19.3%
4	認知症高齢者を支援する体制の確立	228	33.9%
5	家に閉じこもりがちな高齢者が家の近くで受けられるサービス	240	35.7%
6	高齢者が元気で暮らし続けるための健康づくり・介護予防事業	202	30.1%
7	高齢者の生きがいがづくりや社会参加を促進するための取組	193	28.7%
8	その他	22	3.3%
99	無回答	16	2.4%
	合計	1,676	249.4%



全体的傾向	全体では「高齢者・介護者が相談できる窓口の周知」が最も高く 55.8% となっています。
年齢別傾向	30 歳以上の年代で「高齢者・介護者が相談できる窓口の周知」が最も高く、70 歳～79 歳、80 歳以上が 24.8% と最高となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「高齢者・介護者が相談できる窓口の周知」が最も高く、20 年以上 30 年未満が 23.6% と最高となっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「高齢者・介護者が相談できる窓口の周知」が最も高く、子育てをしていない世帯が 22.7% と最高となっています。

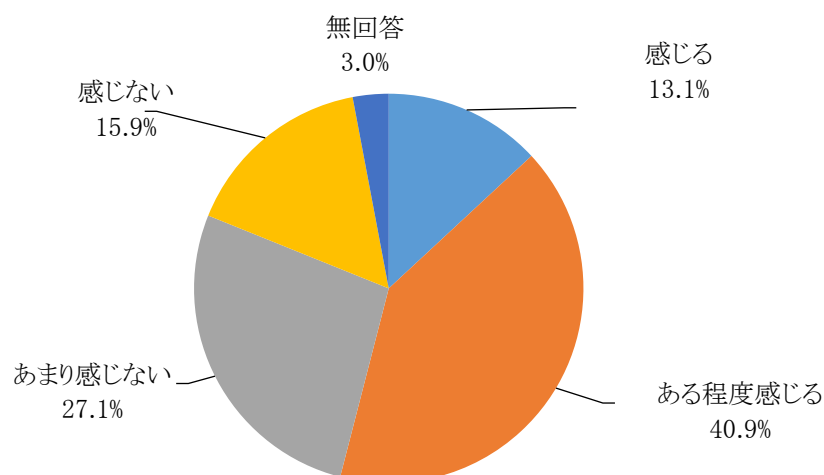
【3】 地域コミュニティの活性化とまちの魅力の創出に向けた取組について

問 20. 旭区内には各小学校区を単位として、10 の「地域活動協議会」が設立されています。各地域活動協議会は、構成団体であるいろいろな地域団体等の協働により、地域課題の解決やコミュニティの活性化に向けて、さまざまな活動(※)に取り組んでいます。

地域活動協議会により地域が自律的に運営されていると感じますか？ n=672

※地域活動協議会の活動例：防災訓練や歳末夜警、高齢者や子供に関する活動（百歳体操、ふれあい喫茶、高齢者食事サービス、子育てサロン、通学路の見守り、清掃活動、地域の祭りなど）

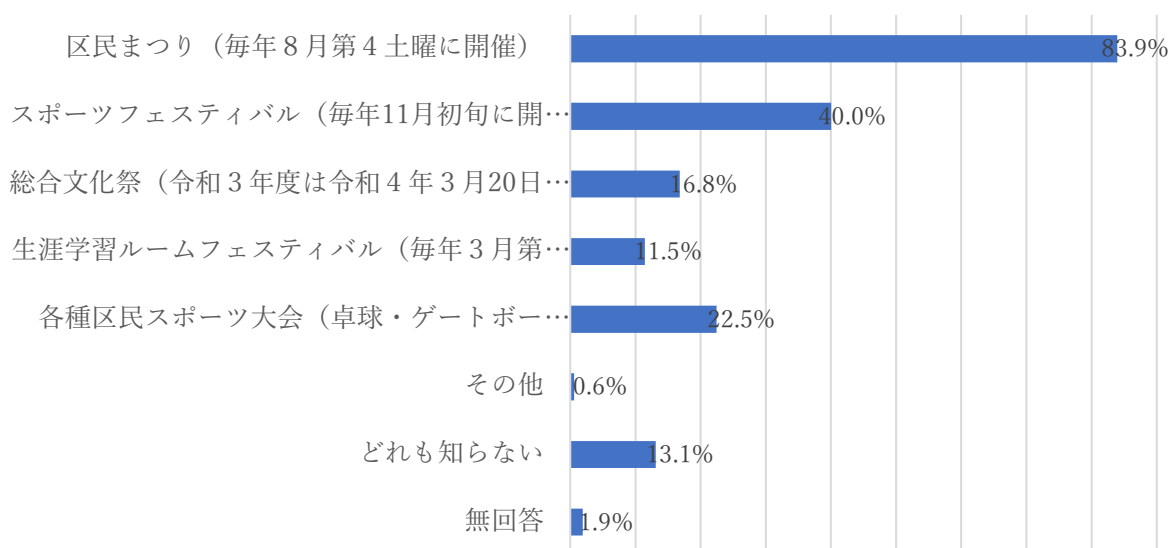
	項目	全体	割合
1	感じる	88	13.1%
2	ある程度感じる	275	40.9%
3	あまり感じない	182	27.1%
4	感じない	107	15.9%
99	無回答	20	3.0%
合計		672	100.0%



全体的傾向	全体では「ある程度感じる」が最も高く、40.9%となっています。次いで「あまり感じない」が27.1%となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「ある程度感じる」が最も高く、30歳～39歳が47.1%と最高となっています。
居住年数別傾向	5年未満以外の居住年数で「ある程度感じる」が最も高くなっています。5年未満の居住年数では「感じない」が32.4%と最高となっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「ある程度感じる」が最も高く、小学校就学前の子育てをしている世帯が52.2%と最高となっています。

問 21. 旭区役所では、地域の各種団体と協働で、コミュニティ活性化のための催しを開催しています。次の中から、知っている催しをすべて選んでください。 n=672

	項目	全体	割合
1	区民まつり(毎年8月第4土曜に開催)	564	83.9%
2	スポーツフェスティバル(毎年11月初旬に開催)	269	40.0%
3	総合文化祭(令和3年度は令和4年3月20日(土・祝)・21日(日)に開催)	113	16.8%
4	生涯学習ルームフェスティバル(毎年3月第1日曜に開催)	77	11.5%
5	各種区民スポーツ大会(卓球・ゲートボール・軟式野球・ソフトテニス・ボート・ソフトボール・バレーボール・水泳・日本拳法・ゴルフ・剣道・グラウンドゴルフ・空手・マラソン・サッカー)	151	22.5%
6	その他	4	0.6%
7	どれも知らない	88	13.1%
99	無回答	13	1.9%
合計		1,279	190.3%

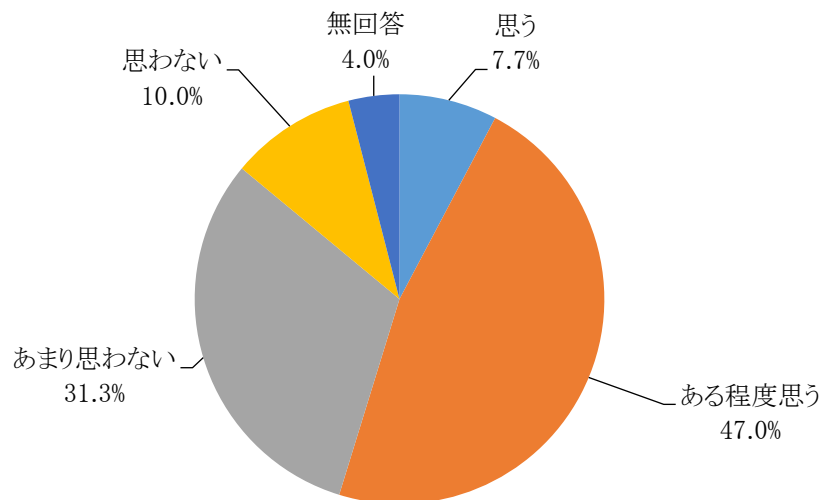


全体的傾向	全体では「区民まつり」が最も高く、83.9%となっています。次いで「スポーツフェスティバル」が高く40.0%となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「区民まつり」が最も高く、18歳～29歳が54.5%と最高となっています。70歳～79歳は37.7%と最低となっています。
居住年数別傾向	5年以上の居住年数で「区民まつり」が最も高く、10年以上20年未満が50.6%と最高となっています。5年未満では、「どれも知らない」が42.0%と最低となっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「区民まつり」が最も高く、小学生就学前の子育てをしている世帯が58.7%と最高となっています。中学生の子育てをしている世帯は、42.1%と最低となっています。

問 22. 旭区役所では、「あさひファン★フェスタ(6月)」「区民まつり(8月)」、「あさひわくわくキーワードラリー！(11月)」、「スポーツフェスティバル(11月)」、「総合文化祭(3月開催予定)」を開催するなど、地域の活性化に取り組んでいます。

旭区において、地域のにぎわいや活性化が進んでいると思いますか？ n=672

	項目	全体	割合
1	思う	52	7.7%
2	ある程度思う	316	47.0%
3	あまり思わない	210	31.3%
4	思わない	67	10.0%
99	無回答	27	4.0%
合計		672	100.0%



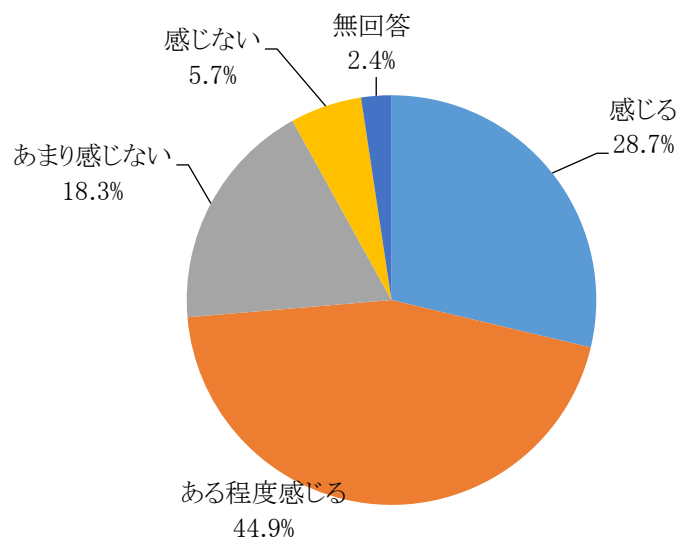
全体的傾向	全体では「ある程度思う」が最も高く、47.0%となっています。次いで「あまり思わない」31.3%、「思わない」10.0%、「思う」7.7%となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「ある程度思う」が最も高く、30歳～39歳が54.3%と最高となっています。70歳～79歳は40.1%と最低となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「ある程度思う」が最も高く、10年以上20年未満の世帯が55.3%と最高となっています。5年未満は、43.7%と最低となっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「ある程度思う」が最も高く、小学校就学前の子育てをしている世帯が63.0%と最高となっています。子育てをしていない世帯は、44.9%と最低となっています。

問 23. 旭区役所では、区を誇りに思い、郷土愛や愛着を深めてもらうとともに、多くの人々が訪れる活気あるまちの実現に向けて各種イベントの開催などに取り組んでいます。

あなたは、旭区に愛着を感じますか？

n=672

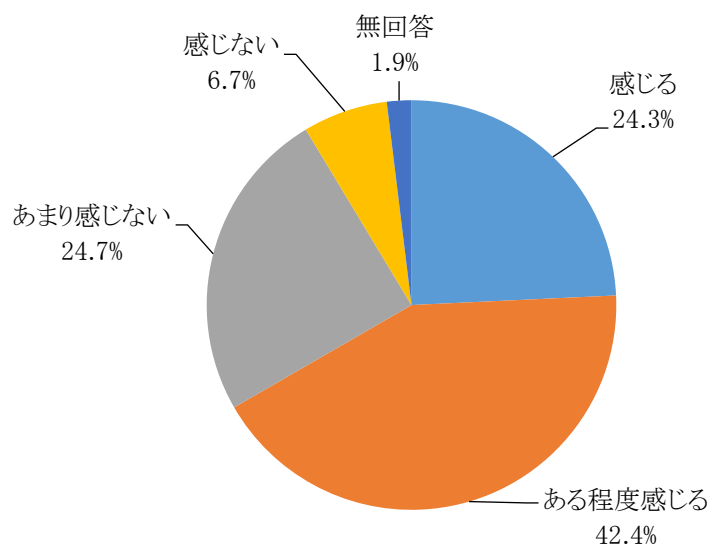
	項目	全体	割合
1	感じる	193	28.7%
2	ある程度感じる	302	44.9%
3	あまり感じない	123	18.3%
4	感じない	38	5.7%
99	無回答	16	2.4%
	合計	672	100.0%



全体的傾向	全体では「ある程度感じる」が最も高く、44.9%となっています。次いで「感じる」28.7%、「あまり感じない」18.3%、「感じない」5.7%となっています。
年齢別傾向	79歳未満では「ある程度感じる」が最も高く、40歳～49歳が53.0%と最高となっています。80歳以上では「感じる」が43.0%と最高となっています。
居住年数別傾向	5年以上の居住年数で「ある程度思う」が最も高く、20年30年未満が58.3%と最高となっています。5年未満の世帯は「あまり感じない」が45.1%と最高となっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「ある程度感じる」が最も高く、中学生の子育てをしている世帯が57.1%と最高となっています。小学生就学前の子育てをしている世帯は、43.5%と最低となっています。

問 24. 区内の商店街ではイベントを行うなど地域とのつながりを大切にしています。
あなたは、旭区内の商店街に魅力を感じますか？ n=672

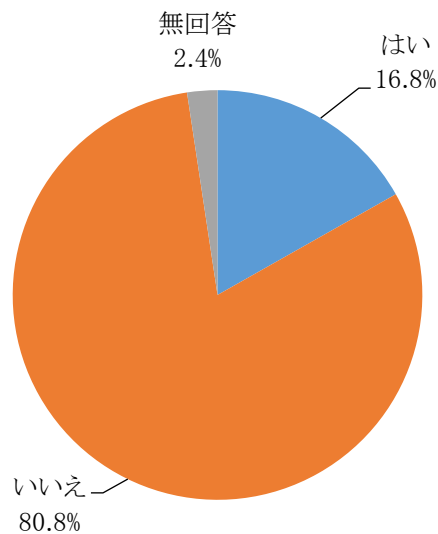
	項目	全体	割合
1	感じる	163	24.3%
2	ある程度感じる	285	42.4%
3	あまり感じない	166	24.7%
4	感じない	45	6.7%
99	無回答	13	1.9%
合計		672	100.0%



全体的傾向	全体では「ある程度感じる」が最も高く、42.4%となっています。次いで「あまり感じない」が24.7%となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「ある程度感じる」が最も高く、18歳～29歳が50.0%と最高となっています。80歳以上は36.6%と最低となっています。
居住年数別傾向	5年以上10年未満を除く居住年数の世帯で「ある程度感じる」が最も高く、5年以上10年未満の世帯では「感じる」が34.7.%と最高となっています。
子育て世帯別傾向	小学校就学前を除く世帯で「ある程度感じる」が最も高く、中学生の子育てをしている世帯が57.1%と最高となっています。小学校就学前の子育てをしている世帯は、「感じる」が45.7%と最高となっています。

問 25. 旭区役所では、旭区の魅力向上のために、「旭区ブランド（いち押しを含む）」・「旭わがまちお宝」を認定していますが、その取組をご存知ですか？ n=672

	項目	全体	割合
1	はい	113	16.8%
2	いいえ	543	80.8%
99	無回答	16	2.4%
合計		672	100.0%



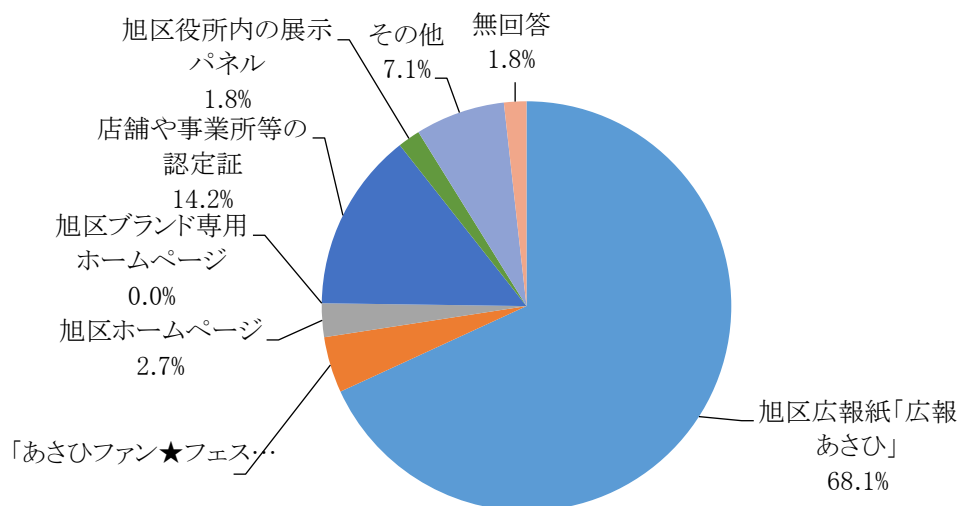
全体的傾向	全体では「いいえ」が最も高く、80.8. %となっています。一方「はい」は 16.8%となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「いいえ」が最も高く、18 歳～29 歳が 95.0%と最高となっています。80 歳以上が最も低く、74.2%となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「いいえ」が最も高く、5 年未満が 94.4%と最高となっています。30 年以上は、75.9%と最低となっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「いいえ」が最も高く、小学校就学前の子育てをしている世帯が 87.0%と最高となっています。小学正の子育てをしている世帯は、72.5%と最低となっています。

問 26. 《問 25 で選択肢「1」を選ばれた方にお聞きします》

「旭区ブランド（いち押しを含む）」・「旭わがまちお宝」をどこで知りましたか？

n=113

	項目	全体	割合
1	旭区広報紙「広報あさひ」	77	68.1%
2	「あさひファン★フェスタ」や「あさひわくわくキーワードラリー!」などのイベント	5	4.4%
3	旭区ホームページ	3	2.7%
4	旭区ブランド専用ホームページ	0	0.0%
5	店舗や事業所等の認定証	16	14.2%
6	旭区役所内の展示パネル	2	1.8%
7	その他	8	7.1%
99	無回答	2	1.8%
合計		113	100.0%

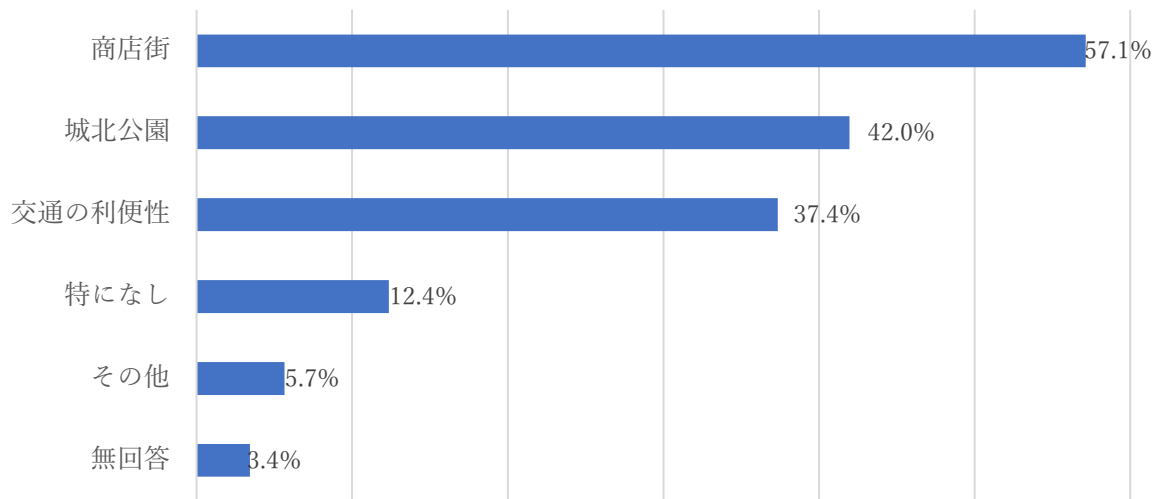


全体的傾向	全体では「旭区広報紙「広報あさひ」」が最も高く、68.1%となっています。次いで「店舗や事業所等の認定証」は14.2%となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「旭区広報紙「広報あさひ」」が最も高く、80歳以上が85.0%と最高となっています。60歳～69歳が最も低く、60.0%となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「旭区広報紙「広報あさひ」」が最も高く、30年以上の世帯が72.2%と最高となっています。20年以上30年未満の世帯は、53.8%と最低となっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「旭区広報紙「広報あさひ」」が最も高く、小学校就学前の子育てをしている世帯が83.3%と最高となっています。子育てをしていない世帯は、69.8%と最低となっています。

問 27. 旭区では、区の魅力を高める取組を行っています。あなたが、旭区の魅力として紹介したいものはありますか？（複数回答可）

n=672

	項目	全体	割合
1	商店街	384	57.1%
2	城北公園	282	42.0%
3	交通の利便性	251	37.4%
4	特になし	83	12.4%
5	その他	38	5.7%
99	無回答	23	3.4%
合計		1061	157.9%



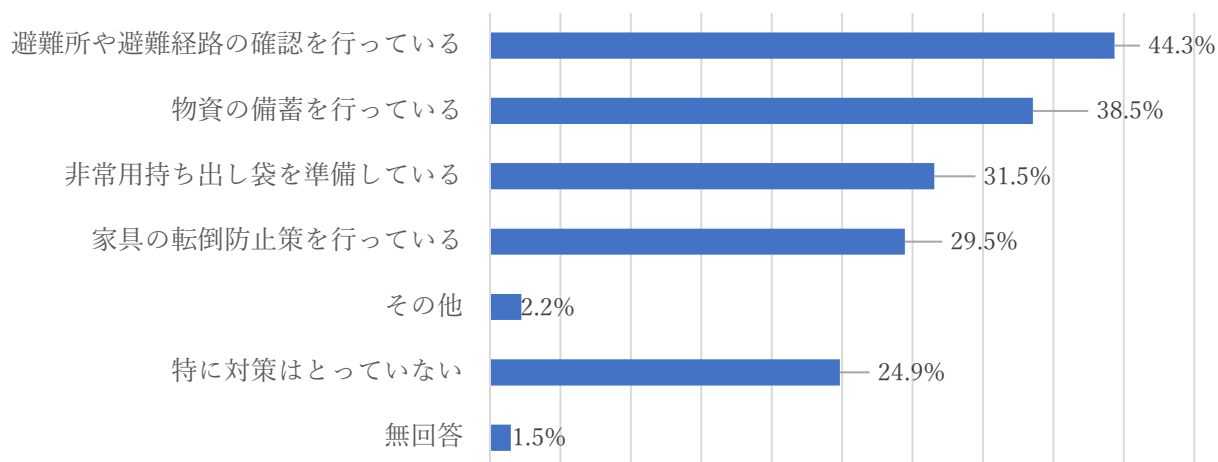
全体的傾向	全体では「商店街」が最も高く、57.1%となっています。次いで「城北公園」は42.0%となっています。
年齢別傾向	69歳以下の年代で「商店街」が最も高く、18歳～29歳が44.6%と最高となっています。70歳～79歳、80歳以上では、「城北公園」が最高となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「商店街」が最も高く、5年以上10年未満、10年以上20年未満の世帯で最高となっています。30年以上の世帯は、32.4%と最低となっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「商店街」が最も高く、小学生の子育てをしている世帯が50.6%と最高となっています。子育てをしていない世帯は、34.5%と最低となっています。

【4】地域防災力・地域防犯力の強化に向けた取組について

問 28. 災害に備えて、避難所や避難経路の確認、物資の備蓄、非常用持ち出し袋、家具の転倒防止策など自助の取組が大切です。あなたの家庭では、何らかの防災対策をとっていますか？次の中から、行っている対策をすべて選んでください。

n=672

	項目	全体	割合
1	避難所や避難経路の確認を行っている	298	44.3%
2	物資の備蓄を行っている	259	38.5%
3	非常用持ち出し袋を準備している	212	31.5%
4	家具の転倒防止策を行っている	198	29.5%
5	その他	15	2.2%
6	特に対策はとっていない	167	24.9%
99	無回答	10	1.5%
	合計	1,159	172.5%



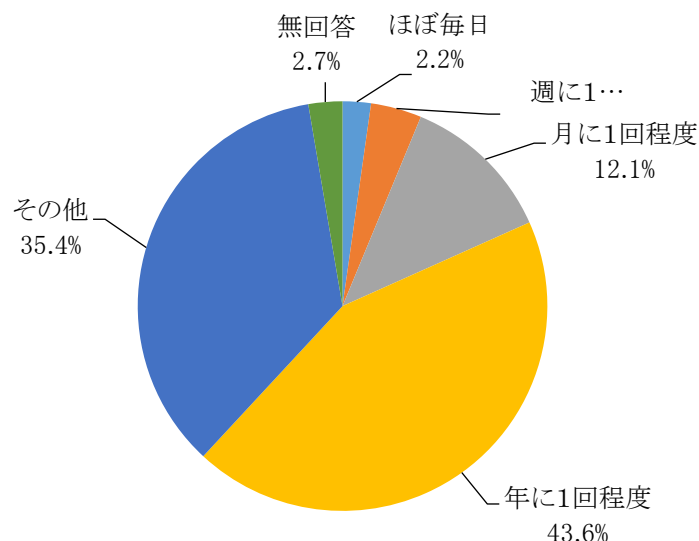
全体的傾向	全体では「避難所や避難経路の確認を行っている」が最も高く、44.3%となっています。一方「その他」が最も低く 2.2%となっています。
年齢別傾向	70 歳以上の年代で「避難所や避難経路の確認を行っている」と回答した割合が高く、70 歳～79 歳で 33.5%と最高となっています。一方、18 歳～29 歳は 18.5%と最も低くなっています。
居住年数別傾向	5 年以上 10 年未満を除く居住年数で「避難所や避難経路の確認を行っている」と回答した割合が高くなっています。5 年以上 10 年未満の居住年数では「物資の備蓄を行っている」が最も高く、25.6%となっています。
子育て世帯別傾向	小学校就学前の子育てをしている世帯と子育てをしていない世帯で「避難所や避難経路の確認を行っている」と回答した割合が高くなっています。中学生の子育てをしている世帯では「物資の備蓄を行っている」が最も高く 29.2%となっています。

【5】城北公園について

問 29. 「城北公園」の利用頻度はどれくらいですか？

n=672

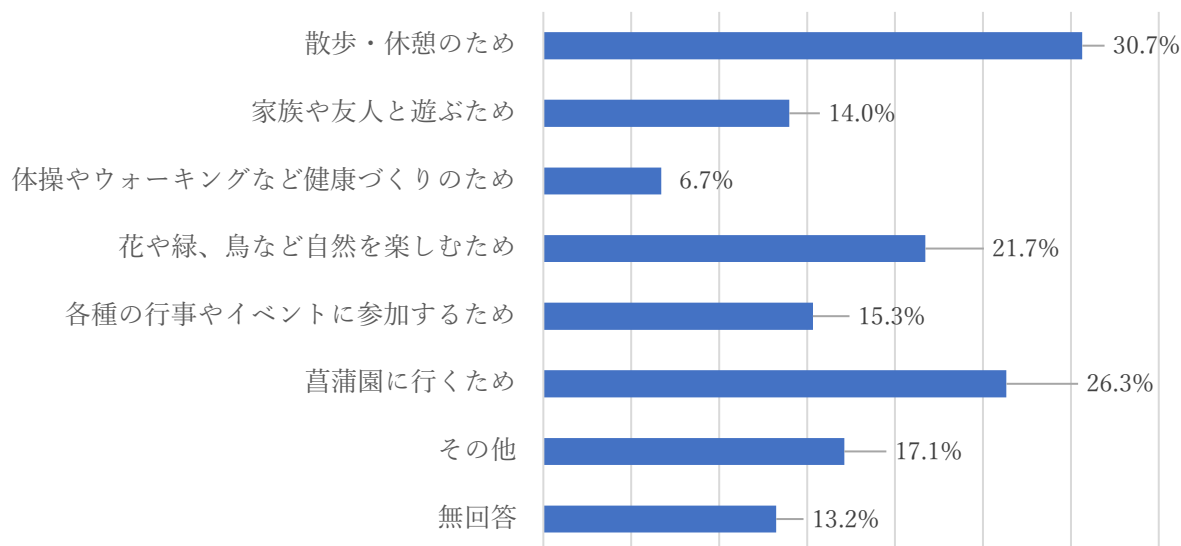
	項目	全体	割合
1	ほぼ毎日	15	2.2%
2	週に1回程度	27	4.0%
3	月に1回程度	81	12.1%
4	年に1回程度	293	43.6%
5	その他	238	35.4%
99	無回答	18	2.7%
合計		672	100.0%



全体的傾向	全体では「年に1回程度」が最も高く、43.6%となっています。一方「ほぼ毎日」が最も低く2.2%となっています。
年齢別傾向	30歳～69歳、80歳以上の年代で「年に1回程度」と回答した割合が高く、40～49歳の年代で60.0%と最も高くなっています。一方、18歳～29歳、70歳～79歳では「その他」が最も高くなっています。
居住年数別傾向	5年未満を除く全ての居住年数で「年に1回程度」が最も高く、10年以上20年未満が50.0%と最高となっています。5年未満は「その他」が最も高く、46.5%となっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「年に1回程度」が最も高く、中学生の子育てをしている世帯が57.1%と最高となっています。子育てをしていない世帯は、43.5%と最低となっています。

問 30. どのような目的で「城北公園」を利用していますか？（複数回答可） n=672

	項目	全体	割合
1	散歩・休憩のため	206	30.7%
2	家族や友人と遊ぶため	94	14.0%
3	体操やウォーキングなど健康づくりのため	45	6.7%
4	花や緑、鳥など自然を楽しむため	146	21.7%
5	各種の行事やイベントに参加するため	103	15.3%
6	菖蒲園に行くため	177	26.3%
7	その他	115	17.1%
99	無回答	89	13.2%
	合計	975	145.1%

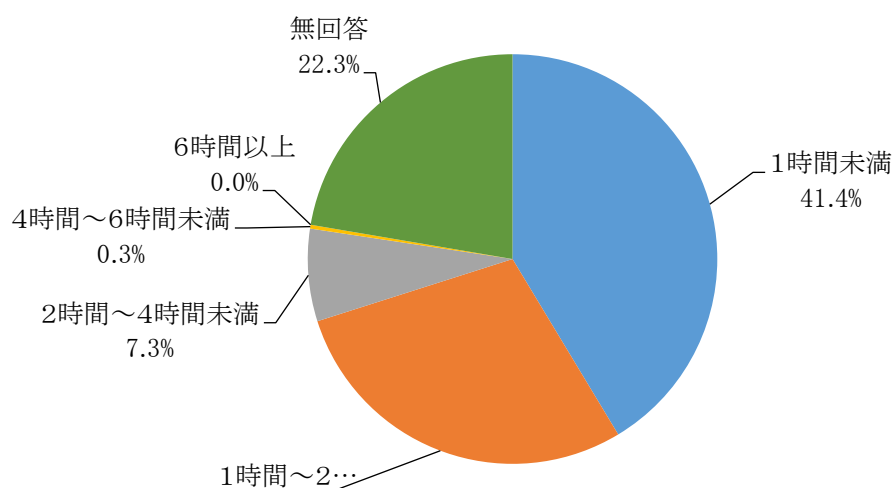


全体的傾向	全体では「散歩・休憩のため」が最も高く、30.7%となっています。次いで「菖蒲園に行くため」が高く 26.3%となっています。
年齢別傾向	60 歳～69 歳の年代で「散歩・休憩のため」と回答した割合が高く、26.1%となっています。一方、70 歳～79 歳、80 歳以上では「菖蒲園に行くため」が最も高く、共に 27.2%となっています。
居住年数別傾向	5 年未満、10 年以上 20 年未満、20 年以上 30 年未満の居住年数で「散歩・休憩のため」が最も高く、5 年以上 10 年未満では「家族や友人と遊ぶため」、30 年以上では「菖蒲園に行くため」が最も高くなっています。
子育て世帯別傾向	子育てをしている全ての世帯で「家族や友人と遊ぶため」が最も高く、小学生の子育てをしている世帯が 47.2%と最高となっています。子育てをしていない世帯は、「散歩・休憩のため」が 21.8%と最も高くなっています。

問 31. 普段「城北公園」での滞在時間はどれくらいですか？

n=672

	項目	全体	割合
1	1時間未満	278	41.4%
2	1時間～2時間未満	193	28.7%
3	2時間～4時間未満	49	7.3%
4	4時間～6時間未満	2	0.3%
5	6時間以上	0	0.0%
99	無回答	150	22.3%
合計		672	100.0%

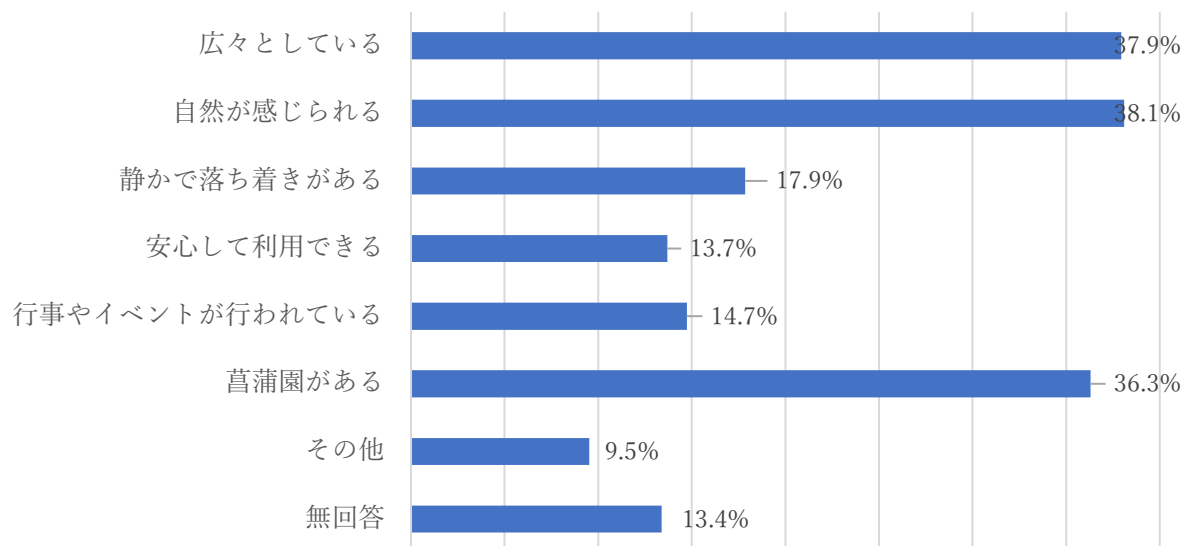


全体的傾向	全体では「1 時間未満」が最も高く、41.4%となっています。次いで「1 時間～2 時間未満」が高く 28.7%となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「1 時間未満」と回答した割合が高く、50 歳～59 歳では 48.6%と最も高くなっています。一方、40 歳～49 歳、80 歳以上では「1 時間未満」「1 時間以上～2 時間未満」が共に最も高くなっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「1 時間未満」が最も高く、20 年以上 30 年未満では 56.0%と最も高くなっています。5 年未満では 33.8%が最も低くなっています。
子育て世帯別傾向	子育てをしている全ての世帯で「1 時間～2 時間未満」が最も高く、小学生の子育てをしている世帯が 47.1%と最高となっています。子育てをしていない世帯は、「1 時間未満」が 44.7%と最も高くなっています。

問 32. 「城北公園」の魅力は何ですか？（複数回答可）

n=672

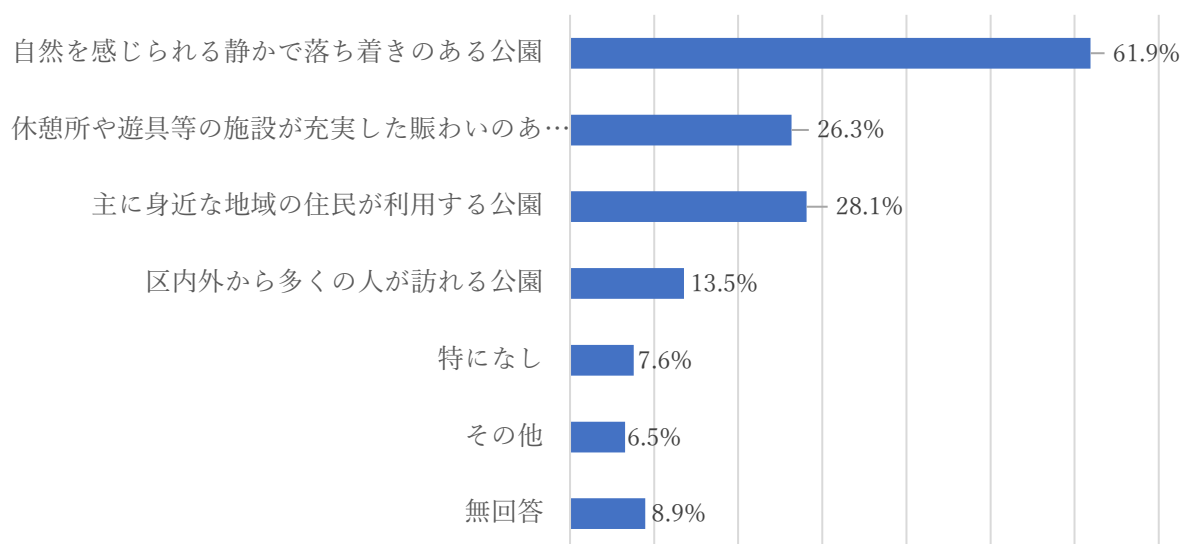
	項目	全体	割合
1	広々としている	255	37.9%
2	自然が感じられる	256	38.1%
3	静かで落ち着きがある	120	17.9%
4	安心して利用できる	92	13.7%
5	行事やイベントが行われている	99	14.7%
6	菖蒲園がある	244	36.3%
7	その他	64	9.5%
99	無回答	90	13.4%
合計		1,220	181.5%



全体的傾向	全体では「菖蒲園がある」が最も高く、36.3%となっています。次いで「自然が感じられる」が高く38.1%となっています。
年齢別傾向	50歳以上の年代で「菖蒲園がある」と回答した割合が高く、80歳以上では29.5%と最も高くなっています。一方、18歳～49歳では「広々としている」が最も高くなっています。
居住年数別傾向	30年以上の居住年数で「菖蒲園がある」が最も高く、20年以上30年未満では「菖蒲園がある」「広々としている」が共に高く、20年未満の世帯では「広々としている」が最も高くなっています。
子育て世帯別傾向	子育てをしている全ての世帯で「広々としている」が最も高く、小学校就学前の子育てをしている世帯が37.0%と最高となっています。子育てをしていない世帯は「菖蒲園がある」が22.6%と最も高くなっています。

問 33.「城北公園」がどのような公園であることを望みますか？（複数回答可） n=672

	項目	全体	割合
1	自然を感じられる静かで落ち着いた公園	416	61.9%
2	休憩所や遊具等の施設が充実した賑わいのある公園	177	26.3%
3	主に身近な地域の住民が利用する公園	189	28.1%
4	区内外から多くの人が訪れる公園	91	13.5%
5	特になし	51	7.6%
6	その他	44	6.5%
99	無回答	60	8.9%
合計		1,028	153.0%

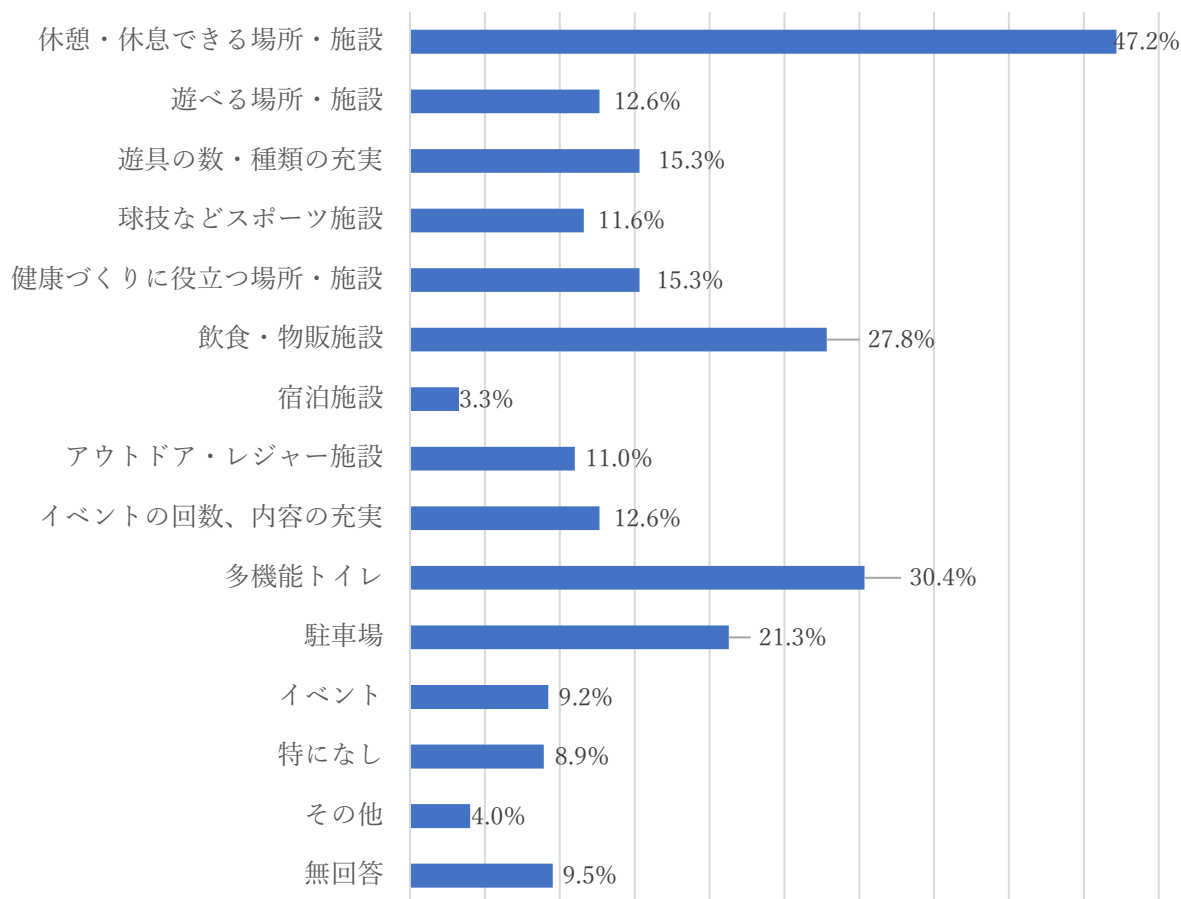


全体的傾向	全体では「自然を感じられる静かで落ち着いた公園」が最も高く、61.9%となっています。次いで「主に身近な地域の住民が利用する公園」が高く 28.1%となっています。
年齢別傾向	30歳以上の年代で「自然を感じられる静かで落ち着いた公園」と回答した割合が高く、60歳～69歳では45.6%と最も高くなっています。一方、18歳～29歳では「休憩所や遊具等の施設が充実した賑わいのある公園」が最も高くなっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数の世帯で「自然を感じられる静かで落ち着いた公園」が高く、20年以上30年未満では44.1%と最も高くなっています。
子育て世帯別傾向	中学生の子育てをしている世帯、子育てをしていない世帯で「自然を感じられる静かで落ち着いた公園」が最も高く、小学校就学前と小学生の子育てをしている世帯では「休憩所や遊具等の施設が充実した賑わいのある公園」が最も高くなっています。

問 34. 「城北公園」にあればいいと思うものは何ですか？（複数選択可）

n=672

	項目	全体	割合
1	休憩・休息できる場所・施設	317	47.2%
2	遊べる場所・施設	85	12.6%
3	遊具の数・種類の充実	103	15.3%
4	球技などスポーツ施設	78	11.6%
5	健康づくりに役立つ場所・施設	103	15.3%
6	飲食・物販施設	187	27.8%
7	宿泊施設	22	3.3%
8	アウトドア・レジャー施設	74	11.0%
9	イベントの回数、内容の充実	85	12.6%
10	多機能トイレ	204	30.4%
11	駐車場	143	21.3%
12	イベント	62	9.2%
13	特になし	60	8.9%
14	その他	27	4.0%
99	無回答	64	9.5%
合計		1,614	240.2%



全体的傾向	全体では「休憩・休息できる場所・施設」が最も高く、47.2%となっています。次いで「多機能トイレ」30.4%、「飲食・物販施設」27.8%となっています。
年齢別傾向	40歳以上の年代で「休憩・休息できる場所・施設」と回答した割合が高く、80歳以上では27.1%と最も高くなっています。 一方、18歳～29歳では「飲食・物販施設」、30歳～39歳「遊具の数・種類の充実」が最も高くなっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数の世帯で「休憩・休息できる場所・施設」が高く、5年未満では「休憩・休息できる場所・施設」「飲食・物販施設」が共に最も高くなっています。
子育て世帯別傾向	小学校就学前と小学生の子育てをしている世帯で、子育てをしていない世帯で「遊具の数・種類の充実」と回答した割合が最も高くなっています。中学生の子育てをしている世帯では「飲食・物販施設」が14.3%、子育てをしていない世帯では「休憩・休息できる場所・施設」が21.2%と最も高くなっています。

問 35. 例えば、安心して住み続けられるあたたかいまちや、こどもの声あふれる
活気あるまちなどの実現に向けて、「城北公園」がどのような公園であれば
いいと思いますか？ ご意見等をご記入ください。 n=231

	ご意見の内容	全体	割合
1	安心・安全の公園	78	33.8%
2	自然を感じられる静かで落ち着いた公園	51	22.1%
3	休憩所や遊具等の施設が充実した賑わいのある公園	36	15.6%
4	きれいな公園	28	12.1%
5	区内外から多くの人を訪れる公園	18	7.8%
6	アクセスの良い公園	13	5.6%
7	主に身近な地域の住民が利用する公園	7	3.0%
	合計	231	100%

自由記述で記載された内容を、上記項目に分類しております。

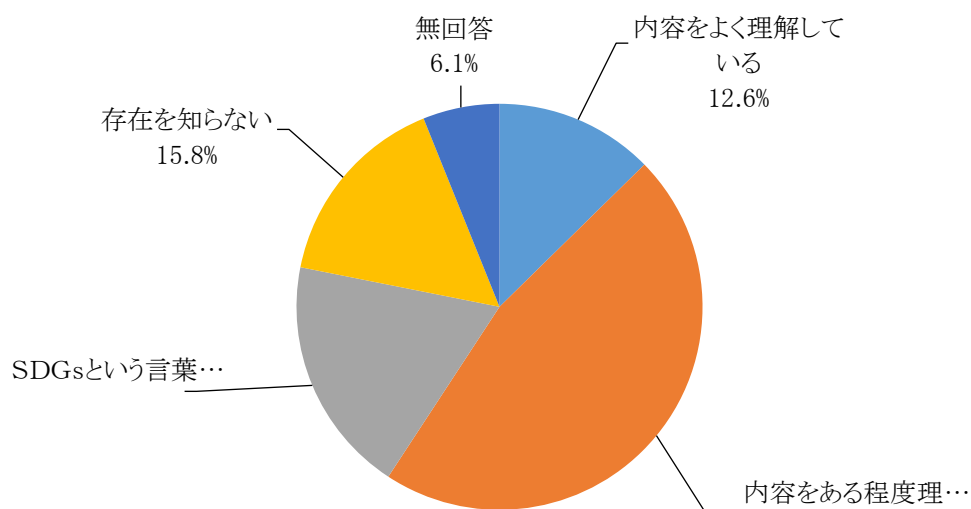
全体で、231件の自由記述がありました。

【6】SDGsについて

問 36. SDGs をご存じですか？

n=672

	項目	全体	割合
1	内容をよく理解している	85	12.6%
2	内容をある程度理解している	313	46.6%
3	SDGsという言葉は聞いたことがある(またはロゴを見たことがある)	127	18.9%
4	存在を知らない	106	15.8%
99	無回答	41	6.1%
合計		672	100.0%



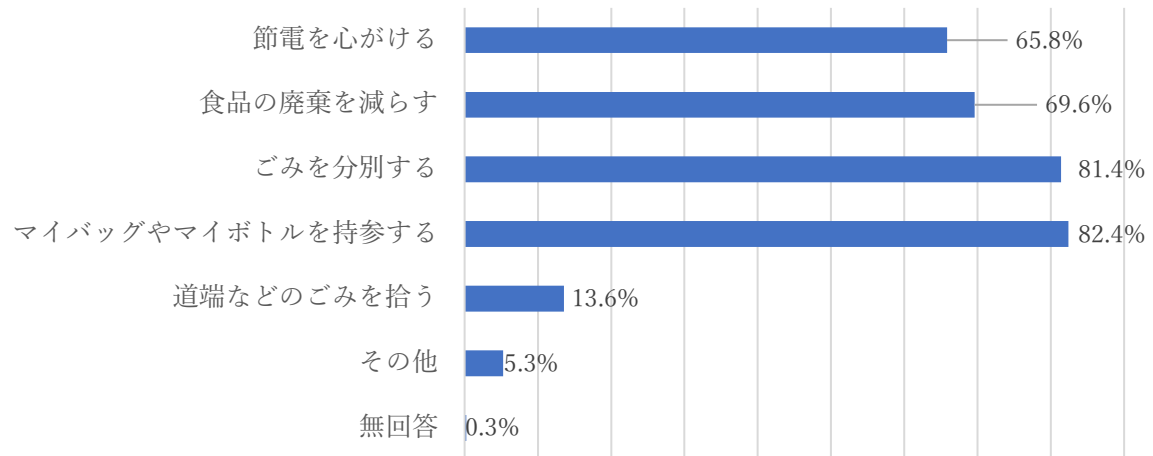
全体的傾向	「内容をある程度理解している」が最も多く、46.6%でした。次いで「SDGsという言葉は聞いたことがある(またはロゴを見たことがある)」18.9%、「存在を知らない」15.8%、「内容をよく理解している」12.6%となっています。
年齢別傾向	80歳以上を除く全ての年代で「内容をある程度理解している」の割合が最も高く、80歳以上では「存在を知らない」が39.8%と最も高くなっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「内容をある程度理解している」が最も高くなっています。5年以上10年未満、10年以上20年未満、20年以上30年未満の世帯では「内容をある程度理解している」が50%以上となっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「内容をある程度理解している」が最も多く、小学校入学前世帯では全世帯で最も高く56.5%となっています。

問 37. 《問 36 で選択肢「1」または「2」を選ばれた方にお聞きします》

普段の生活でSDGsをどの程度意識して行動していますか？（複数回答可）

n=398

	項目	全体	割合
1	節電を心がける	262	65.8%
2	食品の廃棄を減らす	277	69.6%
3	ごみを分別する	324	81.4%
4	マイバッグやマイボトルを持参する	328	82.4%
5	道端などのごみを拾う	54	13.6%
6	その他	21	5.3%
99	無回答	1	0.3%
合計		1,267	318.3%



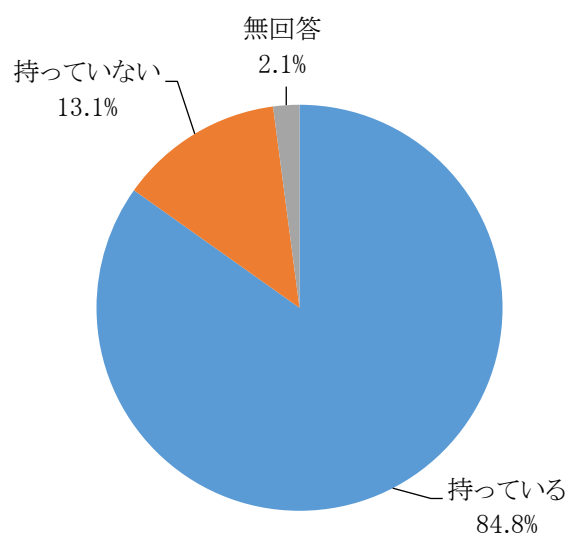
全体的傾向	全体では「マイバッグやマイボトルを持参する」が最も多く、82.4%でした。次いで「ごみを分別する」81.4%が高く、「食品の廃棄を減らす」「切電を心がける」は50%を超えています。
年齢別傾向	69歳までの年代で「マイバッグやマイボトルを持参する」の割合が高く、18歳～29歳では29.6%と最も高くなっています。70歳～79歳、80歳以上の年代では「ごみを分別する」が高くなっています。
居住年数別傾向	5年未満、5年以上10年未満、20年以上30年未満の世帯では「マイバッグやマイボトルを持参する」が最も多く、10年以上20年未満、30年以上の世帯では「ごみを分別する」が最も高くなっています。
子育て世帯別傾向	小学校就学前の子育てをしている世帯と子育てをしていない世帯では「マイバッグやマイボトルを持参する」が最も多く、小学生、中学生の子育てをしている世帯では、「ごみを分別する」の割合が最も高くどちらも25%を超えています。

【7】ICTの活用について

問 38. スマートフォンをお持ちですか？

n=672

	項目	全体	割合
1	持っている	570	84.8%
2	持っていない	88	13.1%
99	無回答	14	2.1%
	合計	672	100.0%



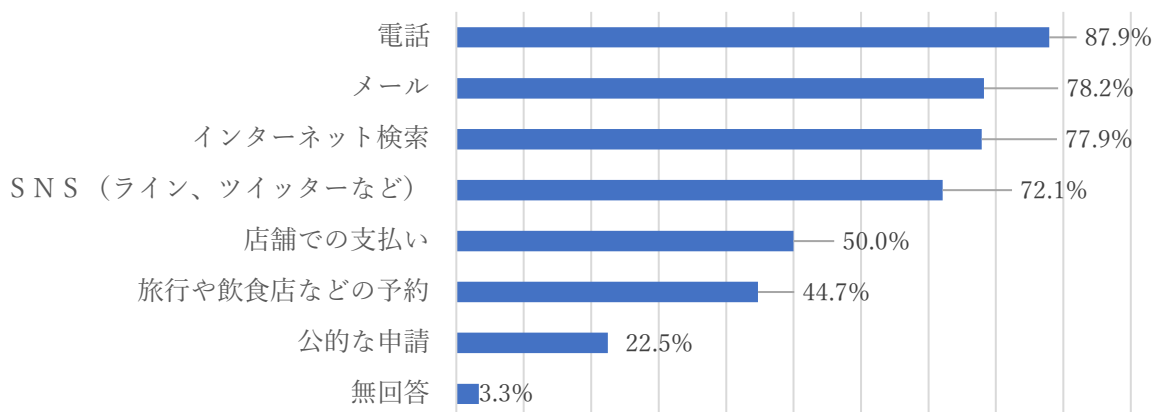
全体的傾向	全体では、「持っている」が最も高く 84.8%でした。次いで「持っていない」が 13.1%となっています
年齢別傾向	全ての年代で「持っている」と回答された割合が高くなっています。69 歳までの年代では 90%以上、70 歳～79 歳では 81%、80 歳以上では 52.7%となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「持っている」が最も高くなっています。30 年以上の世帯では 81.2%と最も低くなっています。
子育て世帯別傾向	全ての子育て世帯で「持っている」が 100.0%となっています。子育てをしていない世帯では「持っている」が 83.4%となっています。

問 39. 《問 38 で選択肢「1」を選ばれた方にお聞きします》

スマートフォンで行っていることは何ですか？（複数回答可）

n=570

	項目	全体	割合
1	電話	501	87.9%
2	メール	446	78.2%
3	インターネット検索	444	77.9%
4	SNS(ライン、ツイッターなど)	411	72.1%
5	店舗での支払い	285	50.0%
6	旅行や飲食店などの予約	255	44.7%
7	公的な申請	128	22.5%
99	無回答	19	3.3%
	合計	2,489	436.7%



全体的傾向	全体では、「電話」が最も高く 87.9%でした。次いで「メール」、「インターネット検索」「SNS(ライン、ツイッターなど)」が高く、いずれも 70%を超えています。
年齢別傾向	18～29 歳では「SNS(ライン、ツイッターなど)」が最も多く、30 歳～39 歳では「SNS(ライン、ツイッターなど)」「インターネット検索」、40 歳～49 歳、50 歳～59 歳では「インターネット検索」、60 歳～69 歳、70 歳～79 歳、80 歳以上では「電話」が多くなっています。
居住年数別傾向	5 年以上 10 年未満、30 年以上の世帯で「電話」が最も高く、30 年以上の世帯では 22.8%と最も高くなっています。5 年未満、10 年以上 20 年未満、20 年以上 30 年未満では「インターネット検索」が最も高くなっています。
子育て世帯別傾向	全ての子育て世帯では「電話」「インターネット検索」「SNS(ライン、ツイッターなど)」が高く、いずれも 15%を超えています。子育てをしていない世帯では「電話」が最も高く 20%を超えています。

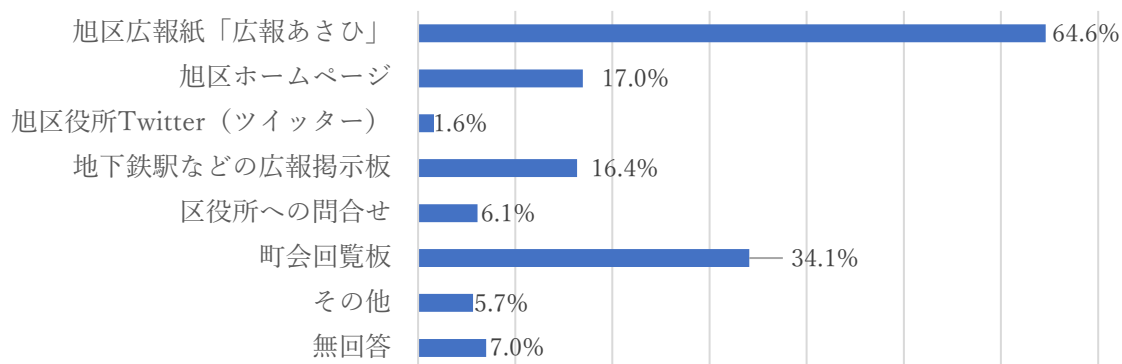
【8】広報について

問 40. 旭区の区政情報やイベント情報を何から入手していますか？

あてはまるものをすべて選んでください

n=672

	項目	全体	割合
1	旭区広報紙「広報あさひ」	434	64.6%
2	旭区ホームページ	114	17.0%
3	旭区役所Twitter(ツイッター)	11	1.6%
4	地下鉄駅などの広報掲示板	110	16.4%
5	区役所への問合せ	41	6.1%
6	町会回覧板	229	34.1%
7	その他	38	5.7%
99	無回答	47	7.0%
合計		1,024	152.4%



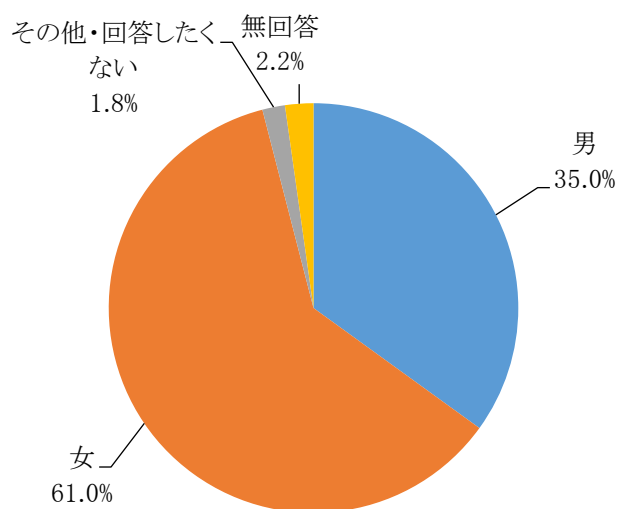
全体的傾向	全体では、「旭区広報紙「広報あさひ」」が最も高く 64.6%でした。次いで「町会回覧板」が 34.1%となっています
年齢別傾向	18～29 歳を除く全年代で「旭区広報紙「広報あさひ」」と回答された割合が最も高くなっています。一方 18 歳～29 歳では「地下鉄駅などの広報掲示板」と回答された割合が高く、30.0%となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「旭区広報紙「広報あさひ」」が最も高くなっています。10 年以上の居住世帯では「町会回覧板」が次いで高く 20.0%を超えています。一方、5 年未満、5 年以上 10 年未満の世帯では「旭区ホームページ」「地下鉄駅などの広報掲示板」が次いで高くなっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「旭区広報紙「広報あさひ」」が高く、全て 40.0%を超えています。次いで、小学校就学前は「旭区ホームページ」が高く、小学生、中学生の子育てをしている世帯、子育てをしていない世帯は観覧版が高く、20%を超えています。

【9】あなたご自身についてお聞きします

問 41. あなたの性別をお答えください。

n=672

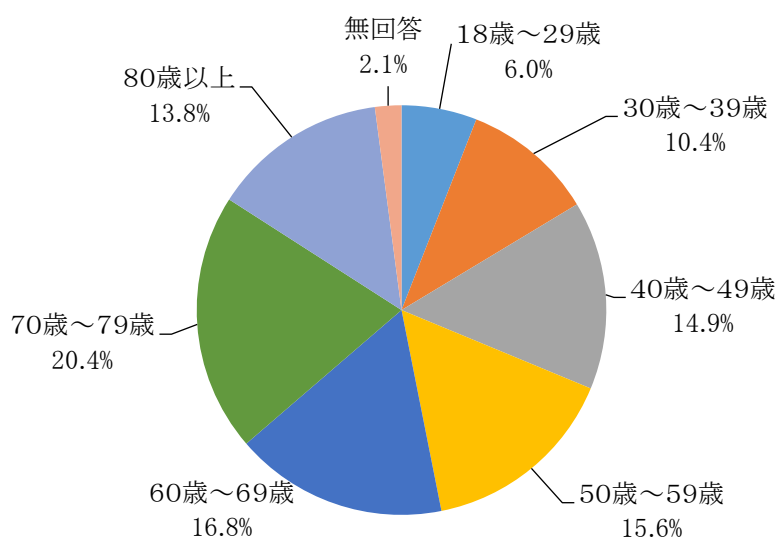
	項目	全体	割合
1	男	235	35.0%
2	女	410	61.0%
3	その他・回答したくない	12	1.8%
99	無回答	15	2.2%
	合計	672	100.0%



全体的傾向	男性が 35.0%、女性が 61.0%となっています。
年齢別傾向	対象外
居住年数別傾向	対象外
子育て世帯別傾向	対象外

問 42. あなたの年齢をお答えください。 n=672

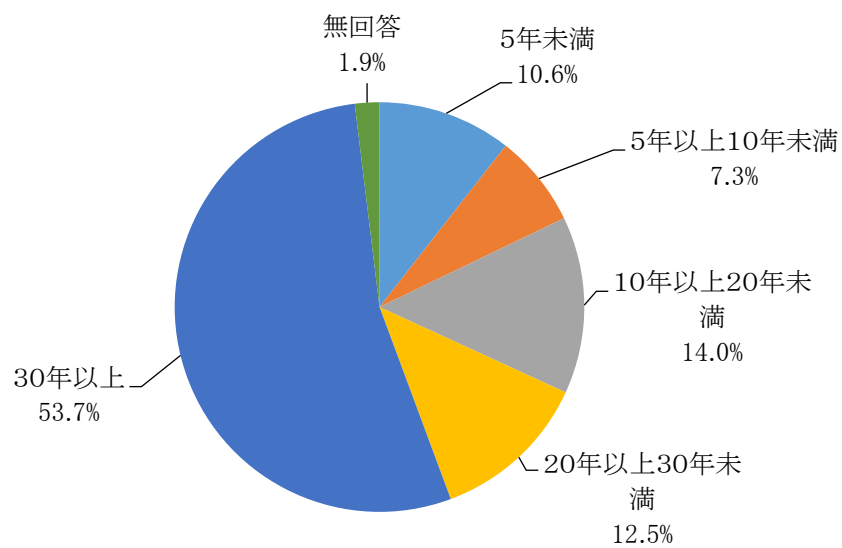
		全体	割合
1	18歳～29歳	40	6.0%
2	30歳～39歳	70	10.4%
3	40歳～49歳	100	14.9%
4	50歳～59歳	105	15.6%
5	60歳～69歳	113	16.8%
6	70歳～79歳	137	20.4%
7	80歳以上	93	13.8%
99	無回答	14	2.1%
合計		672	100.0%



全体的傾向	70 歳～79 歳の割合が最も高く、20.4%となっています。次いで60 歳～69 歳で 16.8%、60 歳～69 歳で 15.8%となっています。
年齢別傾向	対象外
居住年数別傾向	対象外
子育て世帯別傾向	対象外

問 43. 旭区にお住まいになられてどれくらいになりますか？ n=672

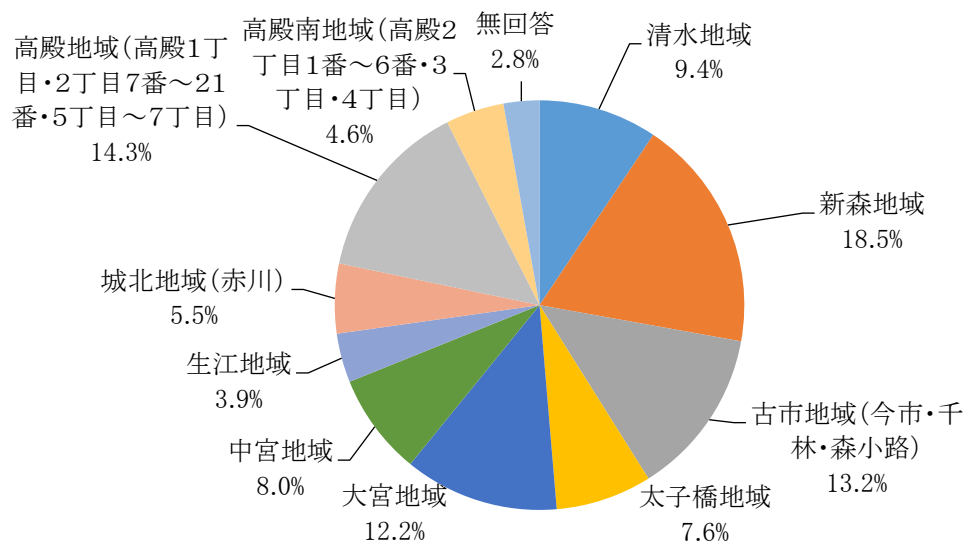
	項目	全体	割合
1	5年未満	71	10.6%
2	5年以上10年未満	49	7.3%
3	10年以上20年未満	94	14.0%
4	20年以上30年未満	84	12.5%
5	30年以上	361	53.7%
99	無回答	13	1.9%
合計		672	100.0%



全体的傾向	30 年以上の割合が最も高く、53.7%となっています。次いで 10 年以上 20 年未満で 14.0%、20 年以上 30 年未満で 12.5%となっています。
年齢別傾向	対象外
居住年数別傾向	対象外
子育て世帯別傾向	対象外

問 44. 現在お住まいの地域をお答えください。 n=672

	項目	全体	割合
1	清水地域	63	9.4%
2	新森地域	124	18.5%
3	古市地域(今市・千林・森小路)	89	13.2%
4	太子橋地域	51	7.6%
5	大宮地域	82	12.2%
6	中宮地域	54	8.0%
7	生江地域	26	3.9%
8	城北地域(赤川)	37	5.5%
9	高殿地域(高殿1丁目・2丁目7番～21番・5丁目～7丁目)	96	14.3%
10	高殿南地域(高殿2丁目1番～6番・3丁目・4丁目)	31	4.6%
99	無回答	19	2.8%
	合計	672	100.0%

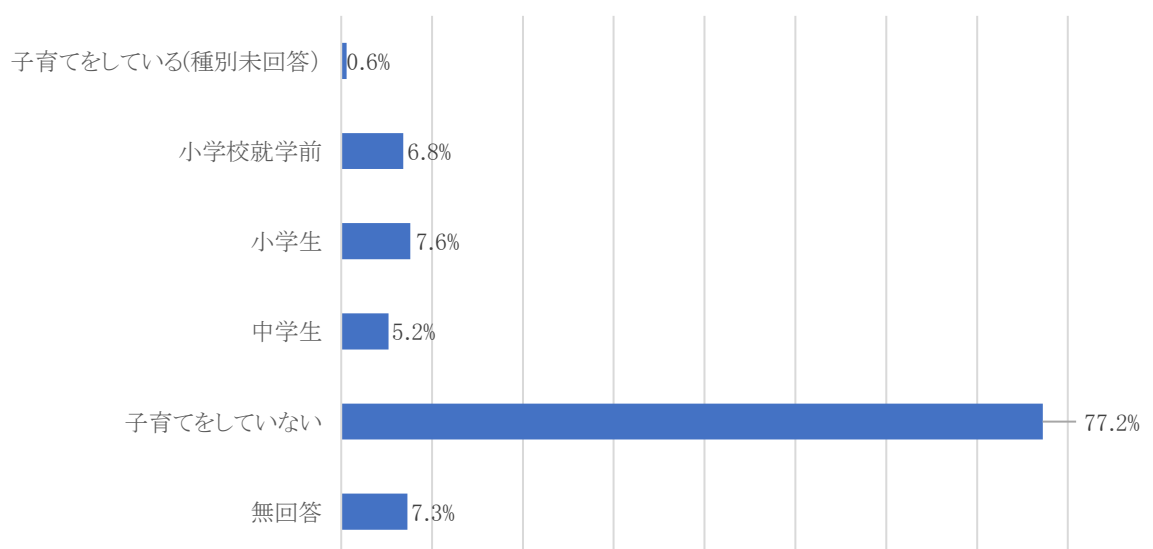


全体的傾向	新森地域の割合が最も高く、18.5%となっています。次いで高殿地域で14.3%、古市地域で13.2%となっています。
年齢別傾向	対象外
居住年数別傾向	対象外
子育て世帯別傾向	対象外

問 45. 現在、中校生以下のお子さまの子育てをしていますか？

なお、「子育てをしている」の場合は（ ）内の区分のうち、お子さまに該当するものすべてに☑を付けてください。 n=672

	項目	全体	割合
0	子育てをしている(種別未回答)	4	0.6%
1	小学校就学前	46	6.8%
2	小学生	51	7.6%
3	中学生	35	5.2%
2	子育てをしていない	519	77.2%
99	無回答	49	7.3%
合計		704	104.8%



全体的傾向	子育てをしていない世帯の割合が最も高く、77.2%となっています。次いで小学生の子育てをしている世帯で7.6%となっています。
年齢別傾向	対象外
居住年数別傾向	対象外
子育て世帯別傾向	対象外

令和４年度 旭区民アンケート 報告書

発行年月 令和５年３月

発 行 大阪市旭区役所 企画課

〒535－8501 大阪市旭区大宮 1 丁目 1 番 17 号

電 話 06－6957－9683／FAX 06－6952－3247